洗面化粧台

ラルージュ

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

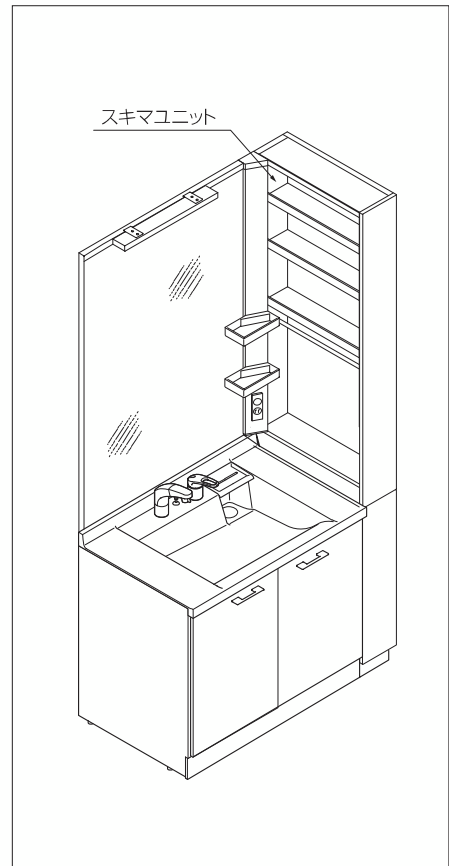
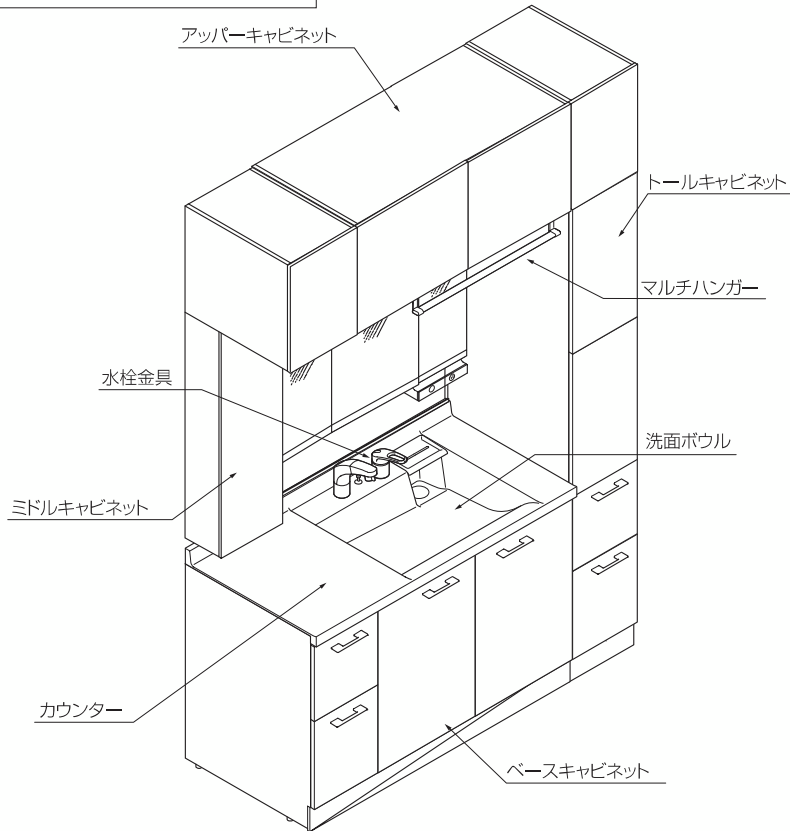
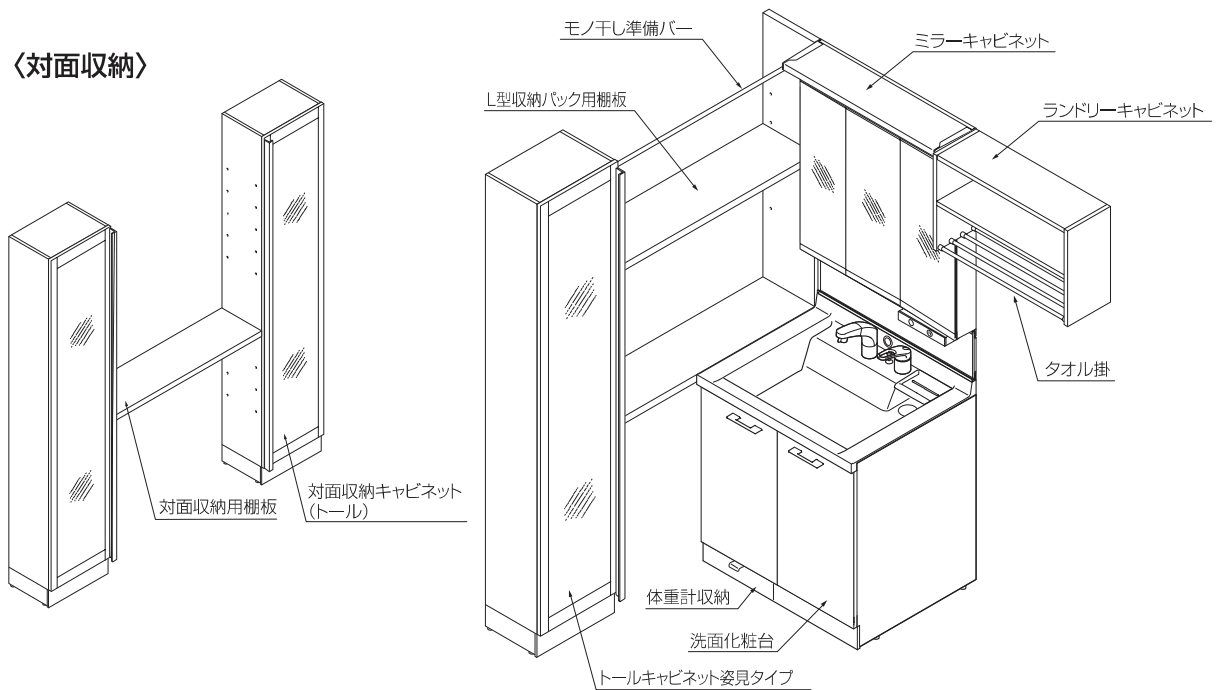
取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
＊転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

取付業者様へ
取扱説明書は必ずお客さまへ必ずお渡しください。

もくじ

・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

キャビネットの名称

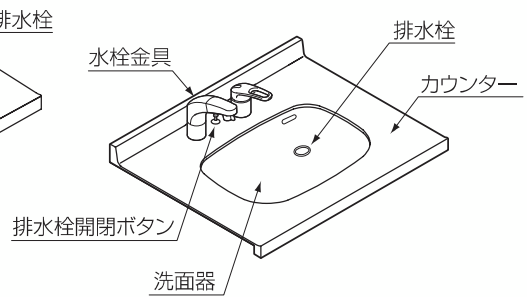
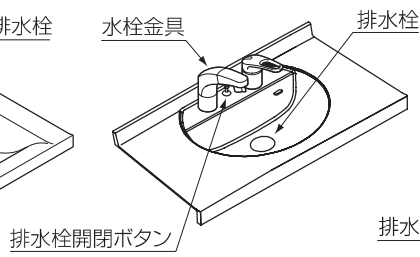
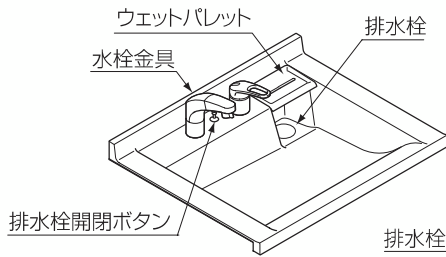
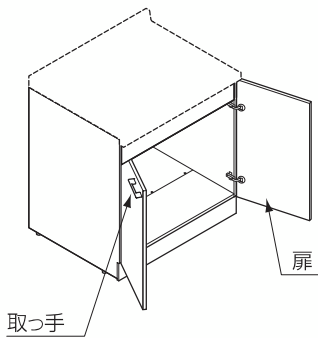
アッパーキャビネット
トールキャビネット
マルチハンガー
水栓金具
洗面ボウル
ミドルキャビネット
カウンター
ベースキャビネット

〈対面収納〉

コンポ コンポタイプ

システム システムタイプ

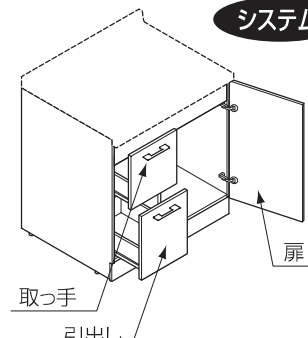
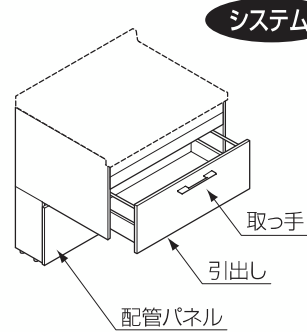
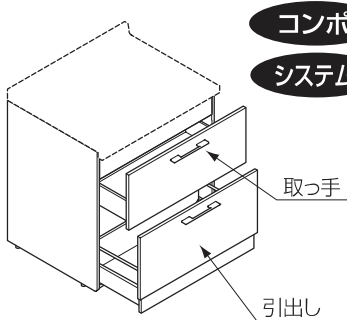
洗面ボウル部の器具名称

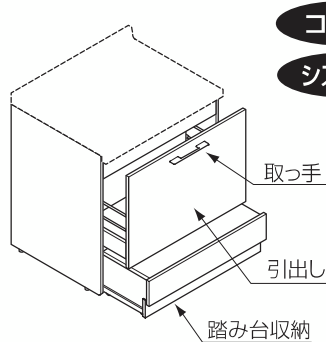
●GS-600N（洗面器一体形カウンター）

●GC-600N（洗面器一体カウンター）

●GM-600N（洗面器別体形カウンター）

化粧台の種類

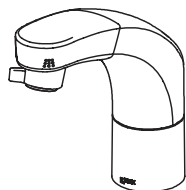
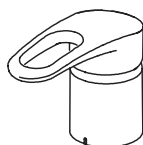
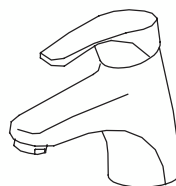
●扉タイプ

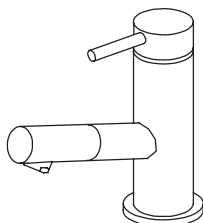
●引出タイプ

●カラクリスライドタイプ

●フルスライドタイプ

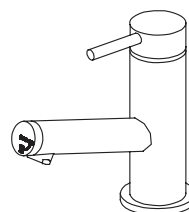
●ステップスライドタイプ

水栓金具の名称と品番

コンポ　コンポタイプ

システム　システムタイプ

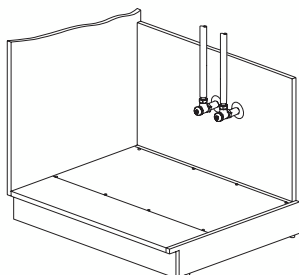
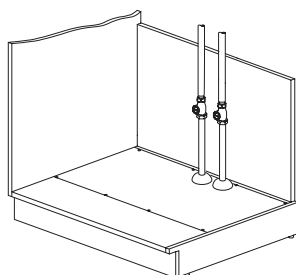
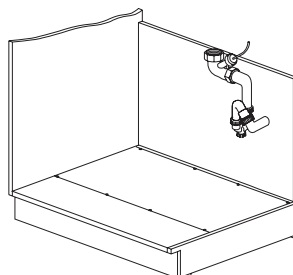
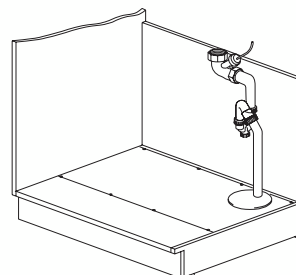
●シングルレバー洗髪シャワー水栓
SF-810SY-MB3（一般地仕様）
SF-810SYN-MB3（寒冷地仕様）

●シングルレバー混合水栓
LF-B340SYC-MB3（一般地・寒冷地共通仕様）

コンポ
システム

●吐水口引出式シングルレバー混合水栓
LF-E345SYC-MB（一般地仕様）
LF-E345SYCN-MB（寒冷地仕様）

システム

●シングルレバー混合水栓
LF-E340SYC-MB3（一般地仕様）
LF-E340SYCN-MB3（寒冷地仕様）

システム

※水栓金具の詳細は、水栓金具の取扱説明書をご参照ください。

配管仕様の種類

●壁給水仕様

●床給水仕様

●壁排水仕様

●床排水仕様

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告** ……………… この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意** ……………… この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ ……………… この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

⊘ ……………… この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

……………… この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

……………… この絵表示は触っていけない「禁止」の内容です。

❗ ……………… この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

 ……………… この絵表示は電源プラグをコンセントから抜いていただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

スイッチ、コンセント、電源プラグなどの電機部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。

※感電や火災の恐れがあります。
※水がかかったら必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などでふきとってご使用ください。

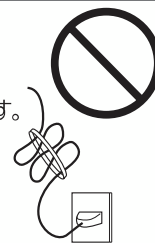
改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

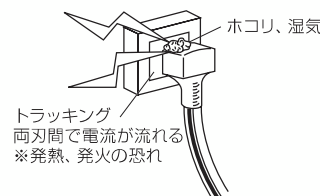
※感電や発熱・発火による火災の恐れがあります。
⚠ 注意

電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独でお使いください。

※100V以外を使用すると、発熱や発火による火災の恐れがあります。

電源コードは束ねたまま使用しない。必ず延ばした状態でご使用ください。

※発熱や発火による火災の恐れがあります。

電気機器の電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリや湿気をふきとってください。

※電源プラグの刃間にホコリがたまると、トラッキング現象により発熱・発火し、火災になる恐れがあります。

扉が傾いたりガタついている場合は、扉の調節や付けなおしを行ってください。

※扉の外れ、落下ににによりケガをする恐れがあります。
扉の調節・取付けは38ページをご覧ください。

商品がガタついたり、破損や故障した場合はただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

※使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、ケガをする恐れがあります。
53ページをご覧のうえ、点検・修理を依頼してください。
※使用中止の際には、必ず付属の電気機器のスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。

※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。

※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。

※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや扉・引出しの開閉動作不良の原因になります。
塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐふき取ってください。

⚠ 注意

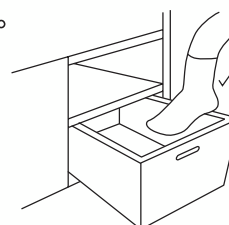
排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。

※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。

除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、芳香剤、洗剤等が付着したまま放置しない。すぐにふき取ってください。

※化粧品や洗剤の中には樹脂（プラスチック）に悪影響を与えるものもあります。放置するとヒビ割れや変形が発生して部品が破損し、ケガや漏水を引き起こす恐れがあります。

カウンターや引出しに乗ったり、扉、取っ手などにぶら下がったりしない。

※無理な力をかけると部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

鏡やアルミ枠扉に手をついたり、たたいたりしない。

※無理な力をかけると、鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。

扉を大きく開けすぎない。

※扉が外れてケガをする恐れがあります。

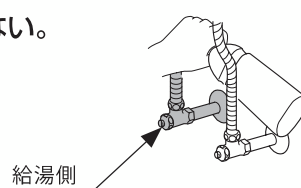
凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。

●水抜き栓がない場合…水栓から少量の水を出したままにしてください。
●水抜き栓がある場合…建築側配管と水栓の水抜き操作を行ってください。（48ページ 参照）
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、拡大損害発生の恐れがあります。

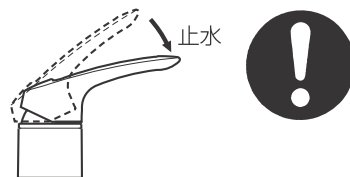
水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

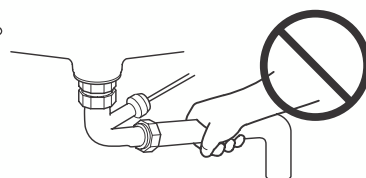
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

お湯の使用中、使用直後はカウンター下の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意

断水時は水栓のハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。

※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。

横引き管やトラップ等の配管に力をかけたり、引っ張ったりしない。また、収納物が接触しないよう、気をつけてください。

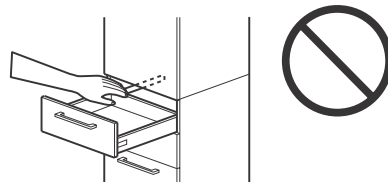
※ナットなど接続部がゆるみ、漏水する恐れがあります。

カウンター、陶器製洗面器に重いものや固いものを落とさない。

※洗面器が割れて漏水や家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。
※割れた場合は応急処置として破損個所に布粘着テープを貼って使用を中止し、修理を依頼してください。

洗面器に熱湯を注がない。

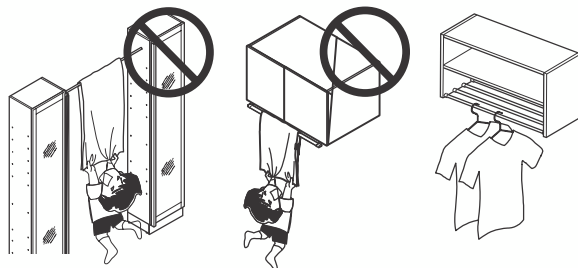
※急激な温度変化により洗面器が割れて、漏水や拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

キャビネットのレールや蝶番にさわらない。

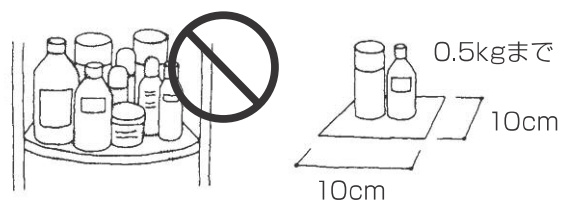
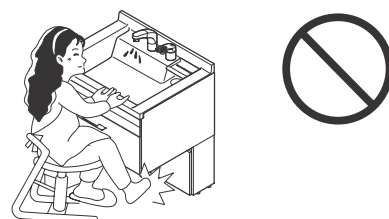
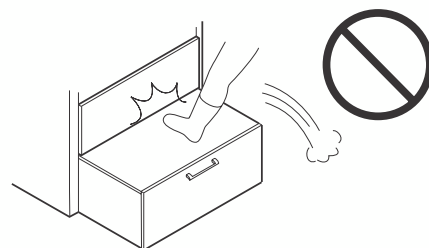
※指を挟んだり、金具でケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時は特に注意してください。

●モノ干し準備バーやマルチハンガー、ランドリーキャビネットのタオル掛にぶら下がったり、掛けたタオル等を強く引っ張ったりしないでください。
●許容つり下げ重さを守って使用してください。

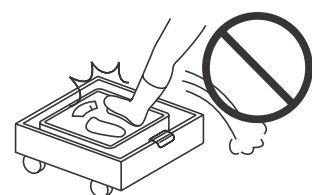
※バーが破損・変形して落下し、ケガをする恐れがあります。

許容つり下げ重さ

5kgまで	30kgまで	3kgまで

⚠ 注意

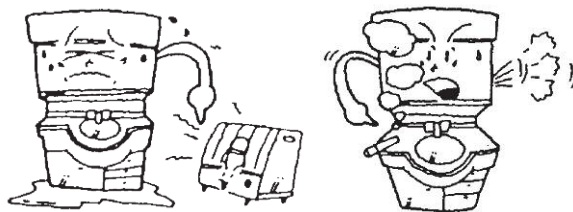
棚やトレイに物を乗せすぎない。
許容積載量を守ってご使用ください。

※棚等が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。
　許容積載量
　10cm×10cm（$100cm^2$）あたり0.5kg以下です。
※許容積載量は棚等に平均的にものを乗せた場合の値です。

カラクリスライドタイプで、配管パネルを外したまま使用しない。
※配管類に足がふれてヤケドをする恐れがあります。また配管を足でけって破損し、漏水する恐れがあります。

ステップスライドキャビネットの踏み台に、勢いよく乗ったり、降りたりしないでください。
※転倒してケガをする恐れがあります。
※ステップスライドは18〜19ページご使用方法をご覧のうえ、ご使用ください。

踏み台収納の体重制限は100kg以下です。
※100kgを超える荷重を加えると、破損してケガをする恐れがあります。

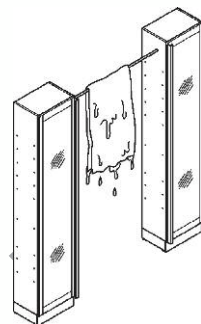
体重計収納には勢いよく乗らない。
※ストッパーが効かず、体重計が動いて転倒する恐れがあります。
（とくに体重の軽い方や小さいお子さまがお使いになるときは注意してあげてください。）
※ストッパーが効きだす荷重は15kgです。

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

お願い

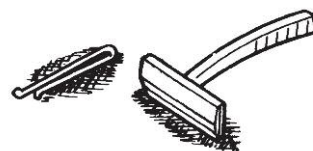
ヒーター等の熱源やタバコ、マッチ等の火気を近づけない。
※変形やコゲ跡がつく原因となります。

キャビネットに水などをこぼさない。
ぬれたらすぐにふき取ってください。
※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部もふき取ってください。
※木質でできていますので水を含んでふくらんだり、表面材がはがれる原因となります。
※アルミ枠扉の樹脂板が水を含むと、変形する場合があります。

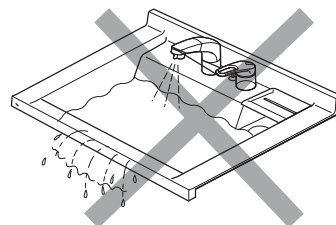
当社品以外の吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置きなどを使用しないでください。
※カウンターやキャビネットに吸盤を貼ると、貼った周辺が変色する場合があります。

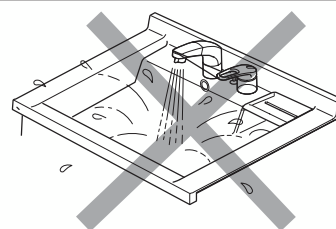
モノ干し準備バーやランドリーキャビネットのタオル掛に、
水がしたたる洗濯物等を掛けない。
※周囲のキャビネットが水を含んでふくらんだり、表面がはがれる場合があります。

直射日光やスポット照明・殺菌灯を当てない。
※変色や変形の恐れがあります。直射日光はカーテン等で必ず遮ってください。

除光液、化粧品、整髪料、毛染め剤、脱色剤、うがい薬、漂白剤、
酸性洗剤などが付着したら、すぐにふき取ってください。
※放置すると表面が変色や劣化する恐れがあります。

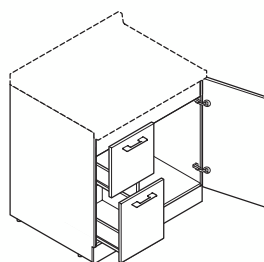
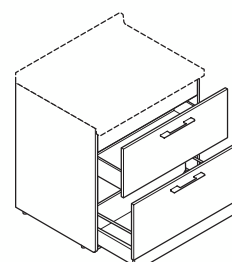
ヘアピン、カミソリの刃等の金属類を放置しないでください。
※サビが付着して取れなくなる場合があります。

お願い

水ためは「整流」で行ってください。

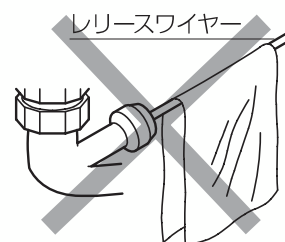
※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる場合があります。

水はねが多い場合は吐出流量を調整してください。

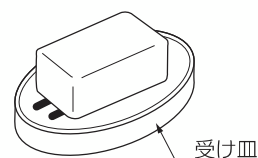
※調整方法は35ページをご覧ください。

引出しにものを入れすぎないでください。

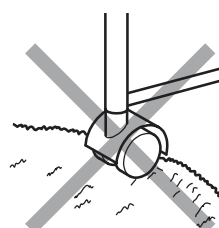
※引出しが出し入れしにくくなったり、レールが故障する原因となります。

許容積載量
引出しタイプ：1段あたり4kg以下
その他：引出し底面100cm²あたり0.5kg以下

引出しタイプ
4kgまで

その他
引出し100cm²
あたり0.5kgまで

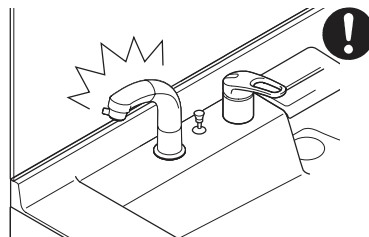
排水器具のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしないでください。
また、収納物が接触しないよう、気をつけてください。

※レリースワイヤーが切断・破損して、排水栓を開閉できなくなる場合があります。

- **カウンターや洗面ボウルに直接石けんを置かないでください。必ず受け皿を使用してください。**
- **ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめにふきとってください。**

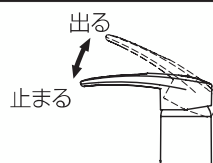
※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、カウンターが変色したり、光沢がなくなる場合があります。

フルスライドタイプキャビネット、ステップスライドタイプキャビネット、ベンチスライドタイプキャビネット、ワゴン収納の前および下にカーペットやバスマットを敷かないでください。

※キャスターに糸がからみ、引出しやワゴンが動きにくくなる恐れがあります。

⚠ 注意

吐水口部を回転させる際には、鏡に当たらないよう、ゆっくり操作してください。

※吐水口部は360°回転します。急に回転すると、吐水口に鏡が当たり、キズつく恐れがあります。

シングルレバーシャワー水栓（SF-810SY(N)-MB3の場合

湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、どの位置にあっても止水します。

レバーハンドルを閉じて水を止めた後に少しの間水が垂れますが、故障ではありません。
※構造上、切替の内部に溜まった少量の水が排出されます。

温度を調節する

レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

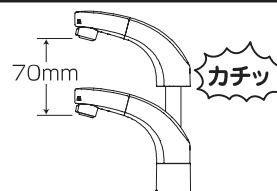
⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

吐水口の高さを変える

吐水口部を握って、上または下に動かします。

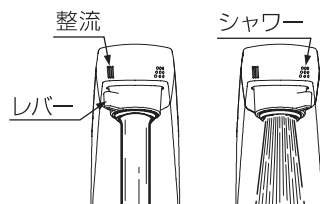
上げる カチッと音がするまで引き上げます。（約70mm上がります）

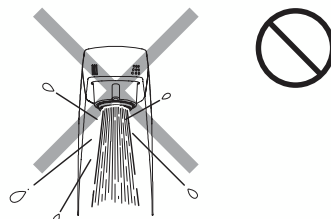
下げる 完全に下まで降ろします。

⚠ 注意

吐水口は一番上もしくは一番下の高さでご使用ください。

※途中の位置でご使用されますと、カウンター下へ水が侵入したり、一番上の高さで固定できなくなることがあります。

整流吐水、シャワーを切り替える

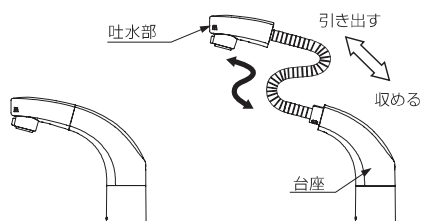
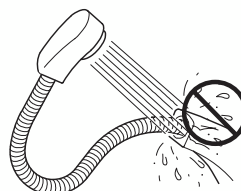
切り替えは止水した状態でおこなってください。
整流吐水仕様の時：吐水口のレバーを左側に動かす。
シャワー仕様の時：吐水口のレバーを右側に動かす。

ワンポイント

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。
※中間位置で吐水すると、吐水が乱れて周囲に水が飛び散りますのでご注意ください。

吐水口の向きを調節する

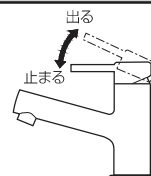
吐水口のヘッド部分を回すと、吐水口の向きが変わります。
左右15°ずつ、計30°回転します。
※お好みの角度でご使用ください。

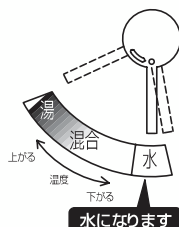
吐水部を引き出す

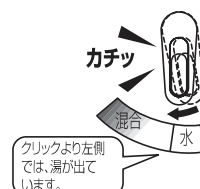
吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。

⚠ 注意

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

シングルレバー混合水栓（LF-E340SYC（N））-MB3）
シングルレバー混合水栓（LF-B340SYC（N））-MB3）の場合
吐水口引出式シングルレバー水栓（LF-E345SYC（N）-MB）

湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると、左右どの位置にあっても止水します。

温度を調節する

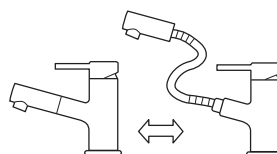
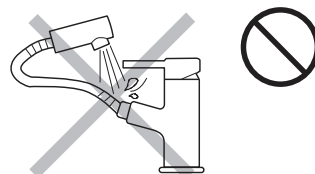
レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。

ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

⚠ 注意

高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

吐水部を引き出す（LF-E345SYC（N）-MBの場合）

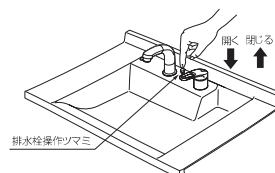
吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ず元に戻してください。

⚠ 注意

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

排水栓を開閉する

排水栓を開く

排水栓操作ツマミを押します。

排水栓を閉じる

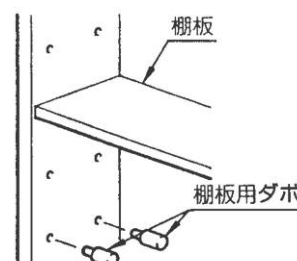
排水栓操作ツマミを引き上げます。

棚板を取り付ける

⚠ 注意

棚ダボや棚受けは奥まで確実に差し込み、棚がガタツキなどなくしっかりはまっていることを確認のうえ使用してください。
※差込みや取付けが不十分だと、棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。

ミドルキャビネット・トールキャビネット 対面収納キャビネット（トール・ベース）の場合

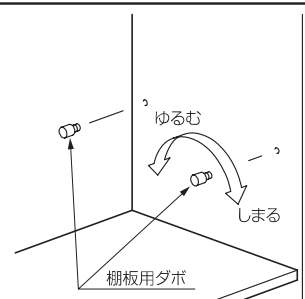
①ダボを差し込む

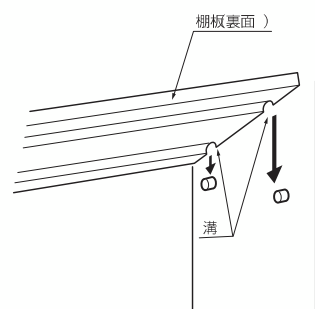
キャビネット内の収納部側面の取付穴に棚板用ダボ4個をしっかり差し込みます。棚板高さは棚板用ダボの差込位置により決まります。

②棚板をのせる

棚板裏の4つのくぼみ部が、4つの棚板用ダボに合うように棚板をのせます。

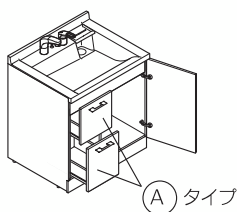
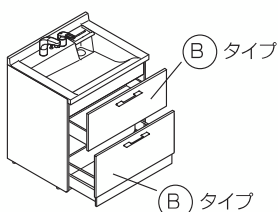
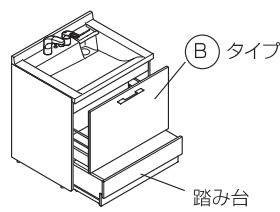
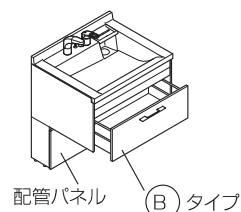
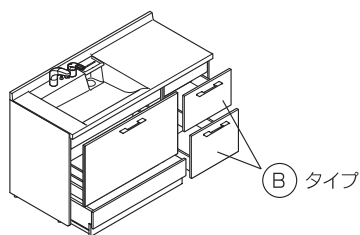
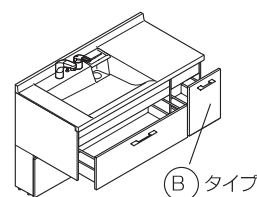
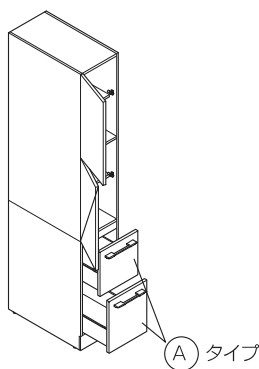
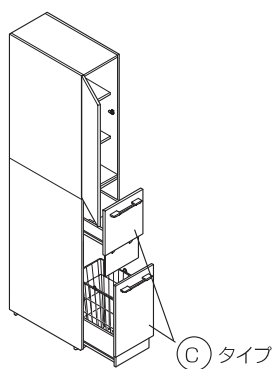
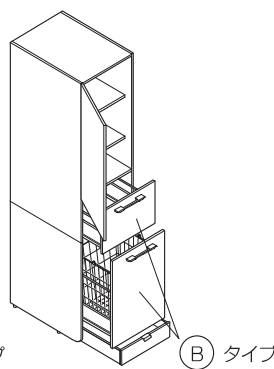
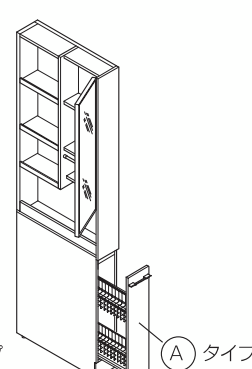
L型収納パック・対面収納用棚板（BB-LCV-T130）の場合

①ダボを差し込む

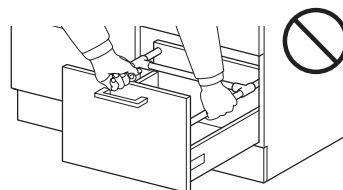
対面収納キャビネット（トールタイプ）の側面、あるいはL型収納パック用トールキャビネット側面またはエンドパネルの取付穴に棚板用のダボ4個をしっかりと取り付けます。
棚板高さは棚板用ダボの取付位置により決まります。

②棚板をのせる

棚板裏の2本の溝部が、4つの棚板用ダボに合うように棚板をのせます。

キャビネットを使う

引出しを取り外す・取り付ける

引出しの仕様はキャビネットにより異なります。下記で該当タイプをご確認ください。

⚠ 注意

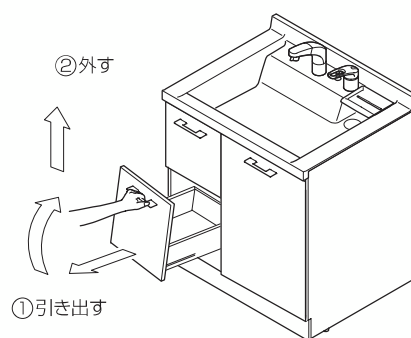
サイドギャラリー付引出しの場合、パイプを持って引出しの取付け・取り外しをしないでください。
※パイプが外れて引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。
　必ず引出しの底を持ってください。

引出し取付後は、数回引出しを開閉してガタツキや異音がないか、持ち上げても引出しが外れないか確認してください。
※正しく取り付いていないと、使用中に引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。

引出しを取り外す・取り付ける（Aタイプ）

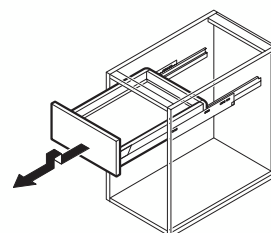
① 取り外す

①引出しを最後まで引き出します。
②取っ手を持ったまま、引出しを持ち上げて外します。

② 取り付ける

取外し方の逆の手順で取り付けます。

引出しを取り外す・取り付ける（Bタイプ）

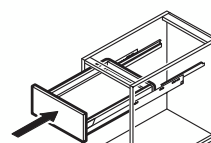
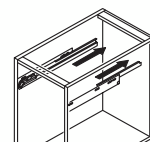
① 取り外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度上に持ち上げ（コンという音がしてロックが外れます）、さらに手前へ引出します。

② 取り付ける

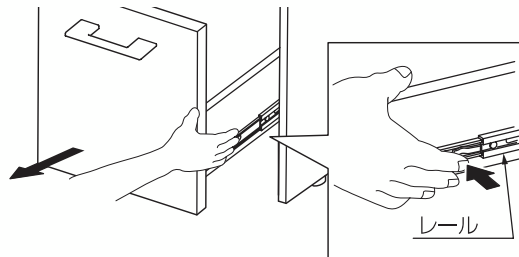
①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。

②引出しを受けレールに載せ、奥まで押し込みます。その際、カチャカチッと音がしてロックされます。

③引出しを数回開閉して、ガタツキや異音がないことを確認します。異常がある場合は取り付けなおしてください。

ご使用方法（キャビネットを使う）

引出しを取り外す・取り付ける（Cタイプ）

① 取り外す

①引出しを最後まで引き出します。
②引出しの左右にあるレールの青い部分を
　指で押さえながらさらに手前に引き、引出し
　を取り外します。

② 取り付ける

取り外し方の逆の手順で取り付けます。
①キャビネット本体のレールを手前に引き出し、引出し側のレールと合わせます。
　（軽く差し込みます。）
②引出しを押し込むとカチッと音がしてロックされます。
③引出しを数回開閉して、ガタツキや異音がないことを確認します。
　異常がある場合は取り付けなおしてください。

ステップスライドタイプキャビネットの使い方

⚠ 注意

●ステップスライドタイプの対象年齢は3歳以上(身長95cm以上)です。
●小さなお子様がご使用の際は、、保護者のつきそいが必要です。
　また、踏み台収納の出し入れは保護者の方が行ってください。
　※転倒してケガをする恐れがあります。
●踏み台収納の体重制限は100kg以下です。
　※100kgを超える荷重を加えると破損してケガをする恐れがあります。
●踏み台に勢いよく乗り降りしないでください。
　※転倒やケガの恐れがあります。

踏み台を使う

踏み台収納を出す

①踏み台収納をロックするまで引き出します。
②ゆっくりと踏み台収納の上に乗ります。
　※クッションフロアで使用する場合、フロアにへこみが生じることがあります。

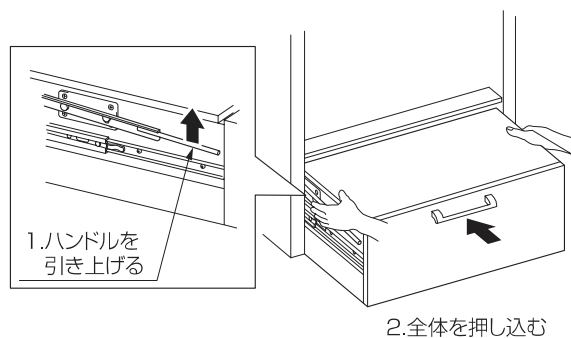
⚠ 注意

踏み台は「カチッ」と音がするまで手前に引き出して、固定されていることを確認してから乗ってください。
※固定されない状態で乗ると、引出しが動いて転倒やケガの恐れがあります。

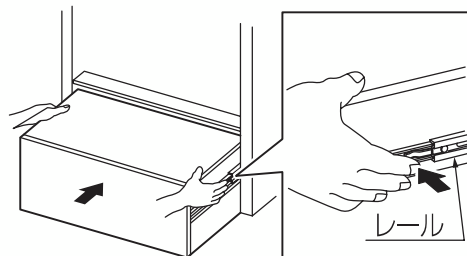
踏み台収納を入れる

左右にあるハンドルを引き上げたまま(ロックが解除されます)、踏み台収納を押し込みます。

⚠ 注意

踏み台の出し入れの際、レールや踏み台と側板の間に手指をはさんだりケガをしないよう、気をつけてください。

踏み台収納を取り外す・取り付ける

踏み台収納を取り外す

①踏み台収納を最後まで引き出します。
②踏み台収納の左右にあるレールの青い部分を指で押さえながらさらに手前に引き、踏み台収納を取り外します。

踏み台収納を取り付ける

取り外し方の逆の手順で取り付けます。
①キャビネット本体のレールを手前に引き出し、踏み台収納側のレールと合わせます。（軽く差し込みます。）
②踏み台収納を押し込むとカチッと音がしてロックされます。③踏み台収納の左右にあるハンドルを引き上げたまま（ロックが解除されます）、踏み台収納を奥まで押し込みます。

⚠ 注意

踏み台収納を取り付けた後は、数回踏み台を開閉させ、正確に取り付けられている（ガタつき、異音がしないか）ことを確認してください。
※正確に取り付けられていないと、踏み台収納が使用中に外れてケガをする恐れがあります。

踏み台収納を使う

フタを開ける キャビネット下部の踏み台を引出し、フタを持ち上げます。
※フタは両手で持ち上げてください。

フタを閉める フタを手前に倒します。スローダウン機構によりゆっくりフタが閉まります。

⚠ 注意

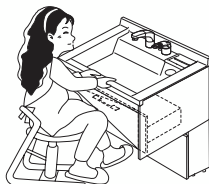
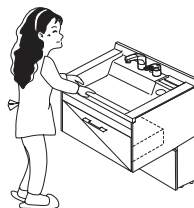
フタを閉める際は指はさみに注意し、ゆっくり閉めてください。
※フタを無理に押さえて閉めると、指をはさんだり、スローダウン機構が故障する場合があります。

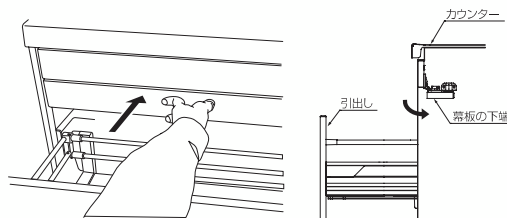
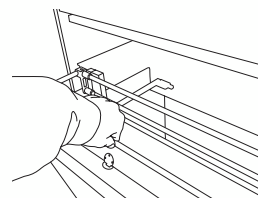
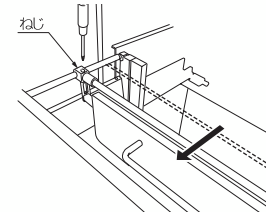
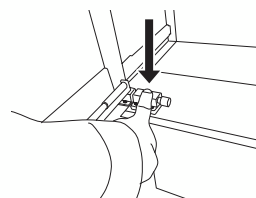
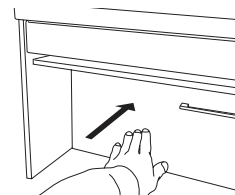
お願い

引出しにものを入れすぎないでください。
※引出しが出し入れしにくくなります。
※許容積載量は、750サイズで7kg、800サイズで8kg、850サイズで9kg、900サイズで10kgです。

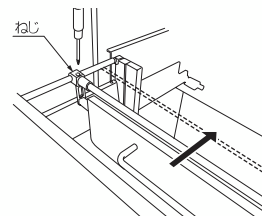
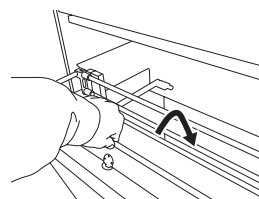
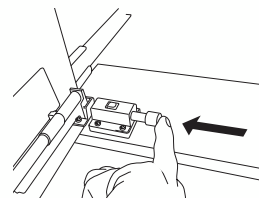
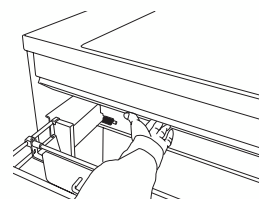
カラクリスライドタイプキャビネットの引出し奥行きを変更する

カラクリスライドタイプは、引出しの奥行きを2段階に設定することができます。
引出しの奥行き変更は、下記の方法で行ってください。

①引出しを奥に設定
（腰かけて使えます）

②引出しを手前に設定
（収納部を広く使えます）

① 引出し奥行きを奥に設定する

①引出しを手前に引出し、幕板の下端を押し上げます。
※幕板を上げないと、指をはさみケガをする恐れがあります。

②引出し底のバーを持ち上げ、底板を垂直に立ち上げます。
※引出し底板を立ち上げないと、引出しが奥まで入らず、作動不良や破損の恐れがあります。

③引出しのクロスギャラリーのねじをドライバーで緩め、ギャラリーを手前に移動させて、ねじを締めます。
※クロスギャラリーを固定しないと、立ち上げた引出し底板が倒れ、作動不良や破損の恐れがあります。

④キャビネット本体内部のロックボタンを押し、引出しレールのロックを解除します。※ロックを解除しないと、引出しが奥まで入らず、作動不良や破損の恐れがあります。

⑤引出しをキャビネットの奥へ押し込みます。

② 引出し奥行きを手前に設定する

①引出しを手前に引出します。

②引出しのクロスギャラリーのねじをドライバーで緩め、
ギャラリーを奥に移動させて、ねじを締めます。

③引出し内部のバーを持って、底板を奥に倒します。

④キャビネット本体内部のロックの黒い部分を押して
ロックをかけます。※ロックをかけないと、引出しが
奥まで入ってしまい、扉面が合わなくなります。

⑤引出しを奥にしてから幕板の奥を持ち、下に倒し
ます。

⚠ 注意

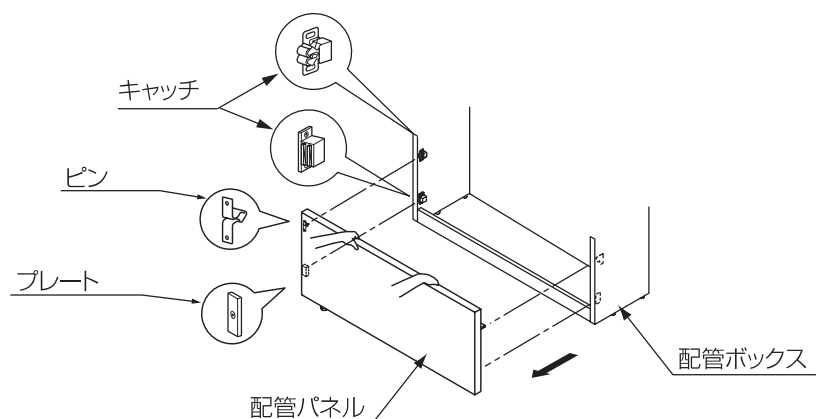
引出し奥行きを変更した後は、数回引出しを開閉させ、正確に取り付けられている
（ガタつき、異音がしないか）ことを確認してください。
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあり
ます。

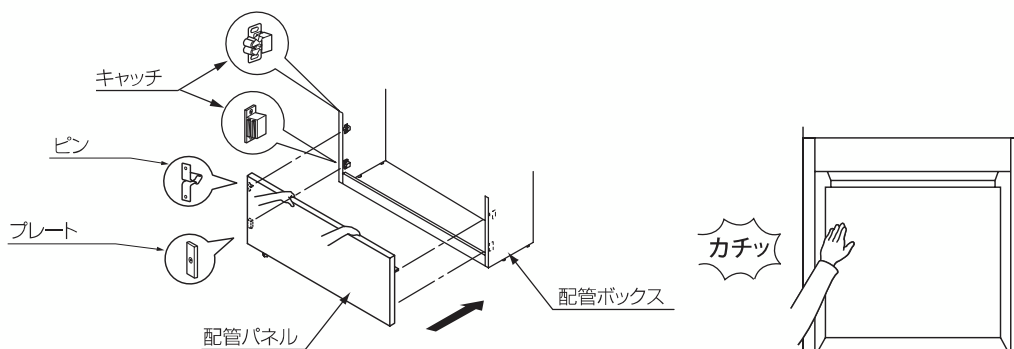
お願い

引出しの奥行き変更の際は、引出しを無理な力で引っ張ったり、たたいたりしないでください。
※引出しが破損し、取り付け･取り外しが困難になる恐れがあります。

カラクリスライドタイプキャビネットの配管パネルを取り外す・取り付ける

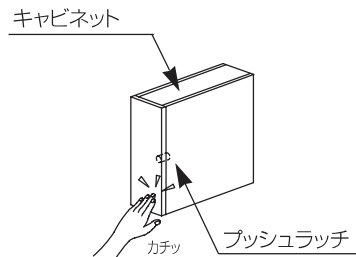
1 取り外す

配管パネル上部を両手で持って手前に引きます。2カ所のピン・プレートがキャッチから外れます。

1 取り付ける

配管パネル裏面のピン（2カ所）・プレート（2カ所）とキャビネット側面のキャッチの位置を合わせ、配管パネルを取り付けます。
※キャッチにピンがはまり、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

お願い

配管パネルの取り付け・取り外しの際は、配管パネルを無理な力で引っ張ったり、たたいたりしないでください。
※キャッチやピンが破損し、取り付け・取り外しが困難になる恐れがあります。

アッパーキャビネット、トールキャビネットの扉を開閉する

指先操作で簡単に扉の開閉ができるプッシュラッチを付けた扉です。
●扉を指で押すとロックが解除され、扉が開きます。
●閉めるときは扉をプッシュラッチ部がカチッと音がするまで閉めます。
●扉の調節方法・プッシュラッチの調節方法は44ページをご覧ください。

お願い

扉を勢いよく閉じないでください。
※プッシュラッチが破損し、扉の開閉が困難になる恐れがあります。また、プッシュラッチ本体がゆるむ恐れがあります。

スライドバスケット・網カゴを取り外し・取り付ける

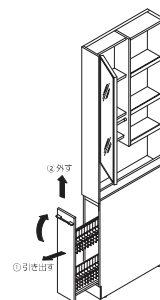
スライドバスケット（150サイズトールキャビネット）の場合

カゴの中に収納物（洗剤等）を収納します。カゴは下図のように取り出すことができます。

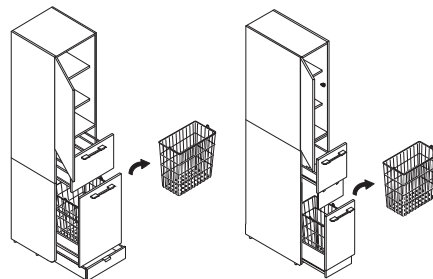
① 取り出す

①スライドバスケットを最後まで引き出します。
②取っ手を持ったまま、本体を持ち上げて外します。

② 取り付ける

取り外し方の逆の手順で取り付けます。

ランドリー網カゴ（ランドリータイプキャビネット）の場合

カゴの中に収納物（洗濯物など）を収納します。
カゴの出し入れは、引出しを最後まで引き出した状態で行ってください。

お願い

●引出しにものを入れすぎないでください。
※引出しが出し入れしにくくなります。
※1個あたりの許容積載質量は下記の通りです。

スライドバスケット	4.0kg			
ランドリー網カゴ	間口300mmキャビネット用	5.0kg	間口450mmキャビネット用	7.0kg

●ぬれたものを入れないでください。
※カゴにサビが発生したり、木部が水を含んでふくらみや表面にはがれが生じる場合があります。

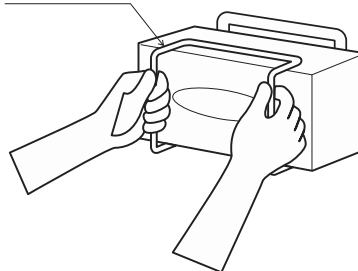
オプション機能

ミラーキャビネット･電気温水器･フットスイッチ･足元温風機･オープン棚･スタイリッシュチェアについては
各取扱説明書をご覧ください。

ティッシュホルダー（BB-GX-2）の使い方

ティッシュボックスを交換する

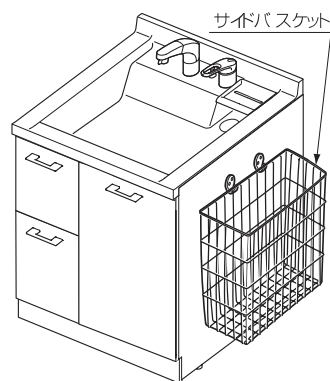
1. ボックス保持部を両手で引き、
ティッシュボックスを交換します。

2. ボックス保持部を押し、ティッシュ
ボックスを固定します。

オプション機能

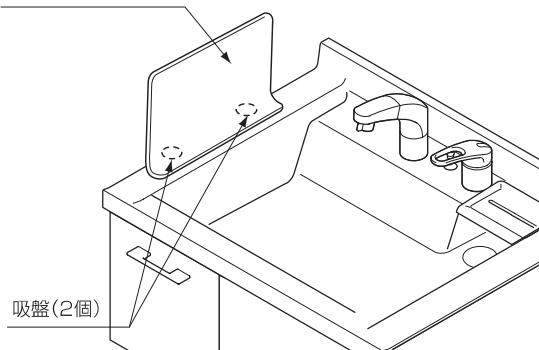
ミラーキャビネット･電気温水器･足元温風機･スタイリッシュチェアについては各取扱説明書をご覧ください。

サイドバスケット（BB-TD1-23）の使い方

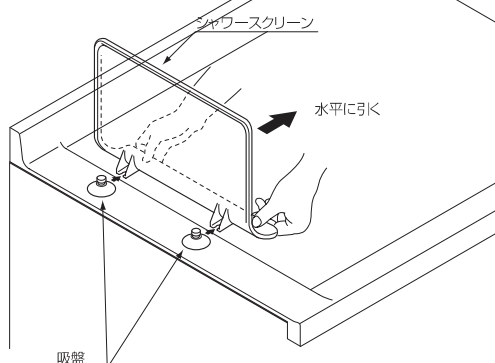
お願い

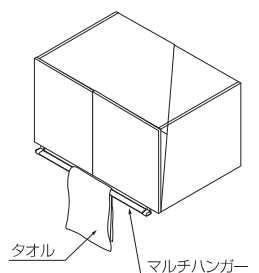
●バスケットにものを入れすぎないでください。
※フックが脱落して、キャビネットが破損する恐れがあります。
●ぬれたものを入れないでください。
※カゴにサビが発生したり、木部が水を含んでふくらみや表面にはがれが生じる場合があります。

シャワースクリーン（BB-PD2）の取付け方

① 吸盤を取り付けるカウンターのホコリや水滴をよくふきとります。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力が弱くなります。

② 吸盤を外側に向け、シャワースクリーンが垂直になるように、吸盤でカウンターに取り付けます。

シャワースクリーンはご使用時の周囲への水はねを抑えるためのものです。洗面ボウルから水があふれるのを防ぐことはできません。

ワンポイント

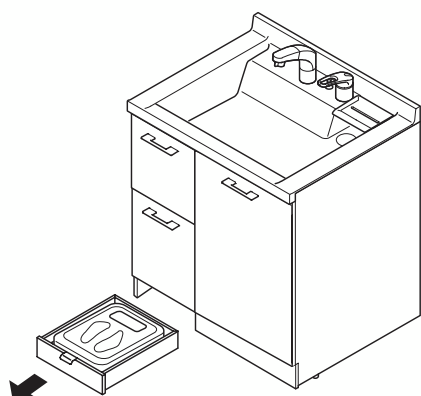
壁際等に設置し、取り外しにくい場合は、吸盤からシャワースクリーン本体を取り外してください。

マルチハンガー(BB-LCV5(750)、(900)、(1000)、(1200)の使い方

マルチハンガーにタオルを掛けます。

タオルがぬれてきたらタオルを交換します。目安は1回/日程度です。

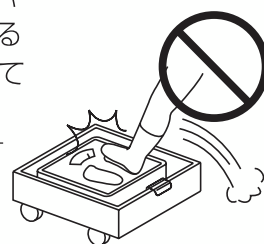
⚠ 注意

マルチハンガーにはぶら下がったり、重いものを掛けたりしないでください。
(つり下げ許容質量は30kgまでです。)
※破損やケガの恐れがあります。

体重計収納ユニットの使い方

体重計収納を手前に引き出します。

体重計にゆっくり足を乗せます。

⚠ 注意

体重計収納に収納した体重計で体重を測るときは、勢いよく乗らないでください。
※ストッパーが効かず、体重計が動いてしまい転倒する恐れがあります。
(とくに体重の軽い方やお子様がお使いになるときは、注意してあげてください。)
ストッパーが効きだす荷重は15kgです。

お願い

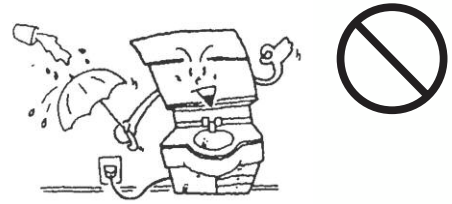
体重計は体重計収納に収まる大きさのものをご使用ください。
※収納可能な体重計の大きさ
- ●サイドベースキャビネット・トールキャビネット
  W320×D380×H60
- ●ベースキャビネット
  W320×D280×H60

ご使用方法(オプション機能)

おそうじ方法

⚠ 警告

スイッチ、コンセント、電源プラグなどの電機部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。

※感電や火災の恐れがあります。
※水がかかったら必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などでふきとってご使用ください。

⚠ 注意

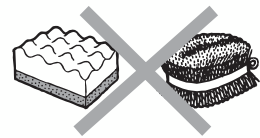
洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。

※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。

※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

お願い

●お手入れの際、次のものは使用しないでください。
・シンナーなどの有機溶剤や薬品、除光液、オレンジオイル配合の洗剤
※樹脂（プラスチック）表面にヒビ割れや変形、変色が発生する場合があります。
・酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤
※表面が変色・劣化したり、金属部にサビが発生する場合があります。
・研磨力の強いクレンザーや固いナイロンスポンジ
※キズがつく場合があります。
●お手入れに使う布はやわらかいキレイなものを使用してください。
※古い固くなった布やトイレットペーパーを使うとキズがつく場合があります。

キャビネット本体（木製部分）

週1回のお手入れ

やわらかい布に住居用中性洗剤または、100倍程度に薄めた食器用中性洗剤をつけて、汚れをふきとります。

お願い

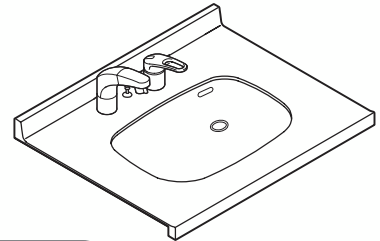
ぬれたまま放置しないでください。
※木が水を含んでふくらんだり、表面がはがれる場合があります。

ワンポイント

●表面にツヤがある扉のお手入れ
表面にツヤ（光沢）がある扉は、洗剤を付けたやわらかい布で軽く叩くようにして汚れを吸い取ってください。
※強くこすると、細かいキズが付く恐れがあります。
●すき間のおそうじ
カウンターとトールキャビネット、ミラーキャビネット等とのすき間には、水アカや汚れがたまりやすいので、綿棒ややわらかい毛の歯ブラシ等で、汚れをかき出しておそうじしてください。

洗面器

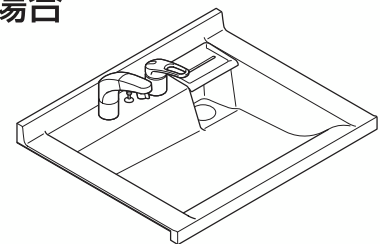
■洗面器別体形／陶器製洗面器（プロガード）の場合

①少量の中性洗剤をつけたやわらかいスポンジで洗面器内を軽くこすります。
②洗剤が残らないよう、洗い流します。
※詳しくは「プロガードお手入れ読本」をご覧ください。

プロガードの性能を長持ちさせるため、次のものは使用しないでください。

・アルカリ性の洗剤
・けんま剤入りの洗剤（クレンザーなど）
・けんま剤入りのブラシやスポンジ

■洗面器一体形／人造大理石（ポリエステル系樹脂）の場合

週1回のお手入れ

①浴室用中性洗剤または100倍程度に薄めた食器用中性洗剤をつけたスポンジで洗面器内を軽くこすります。
②洗剤が残らないよう、洗い流します。
●洗面器内の主な汚れは水アカや石けんカス等です。
浴室用中性洗剤はそれらの汚れに適した成分が配合されています。

ガンコな汚れは…

浴室用クリームクレンザーをつけ、汚れを軽くこすり落とします。
※こすりすぎると表面にキズが付いたり、ツヤが出すぎて変色する場合があります。確認しながらご使用ください。
※クリームクレンザーは「浴室用」をご使用ください。
キッチン用のクリームクレンザーや粉末のクレンザーは、粒子が浴室用に比べて粗いため、キズがつく場合があります。

ワンポイント

落ちにくい汚れやもらいサビは、強くこすらず、浴室用クレンザーをつぎ足しながら、こすっては水洗いを繰り返し、少しずつ落とすのがコツです。

水栓金具

①浴室用中性洗剤または100倍程度に薄めた食器用中性洗剤をつけた布やスポンジで軽くこすります。
※ガンコな汚れには、浴室用クリームクレンザーをご使用ください。
②洗剤が残らないよう洗い流し、残った水分を乾いたやわらかい布でしっかりふきとります。
●ナイロンたわしやブラシ、メラミンスポンジは使用しないでください。
※水栓表面にキズが付いたり、印字部分（湯水·流量調節の表示）が消える恐れがあります。

ソコまでてまなし排水口について

「ソコまでてまなし排水口」のしくみ

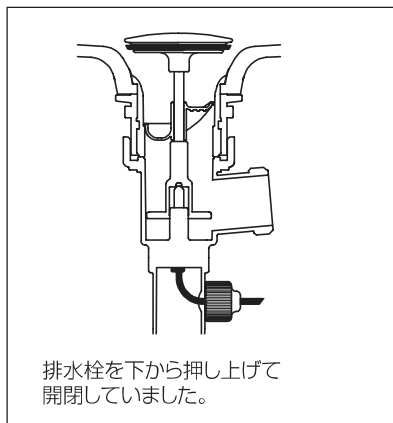
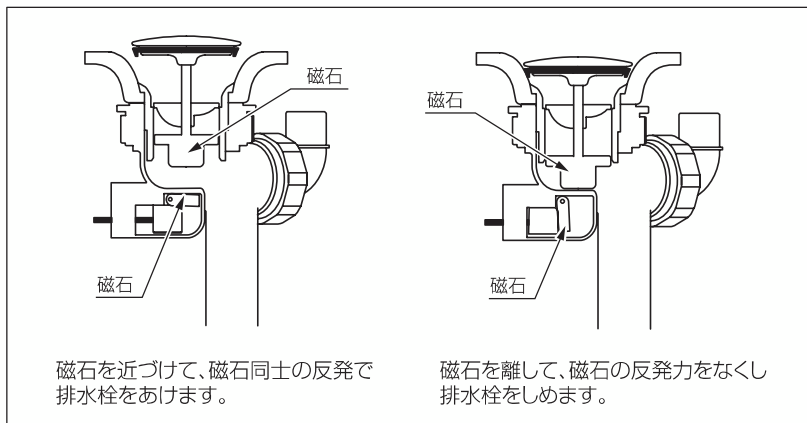
磁石の反発力を利用して排水栓の開閉を行うことで、従来は開閉のために必要であった機構部の突起がなくなり、排水口内を簡単に拭き掃除できる形になりました。

〈従来の排水栓の開閉〉

排水栓を下から押し上げて開閉していました。

〈ソコまで手間なし排水口の場合〉

磁石を近づけて、磁石同士の反発で排水栓をあけます。

磁石を離して、磁石の反発力をなくし排水栓をしめます。

※排水栓は排水口内で浮いています。使用中にゆれる事がありますが、故障ではありません。

「ソコまでてまなし排水口」搭載品番

カウンターの品番が「GC-600N」で始まる品番が対象です。

ご使用時の注意

- 心臓ペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人に排水栓を近づけないでください。安全性の確認については、電子医療機器の取扱説明書をご覧ください。
- 排水栓と磁石または排水栓と鉄片などの磁性体の間には、非常に強い吸着力が働きます。手指や体の一部分を挟まれないよう、十分ご注意ください。
- 排水栓を磁気カードなどの磁気記録媒体に近づけると、データが破壊されて使用できなくなる恐れがあります。また、パソコン、テレビ画面、電子腕時計等の精密電子機器に近づけると故障の原因になる可能性があります。
- 排水栓を他の磁石にくっつけないでください。磁力の強さ、磁石の種類によっては、磁力が低下し機能を十分果たさなくなる可能性があります。
- 排水栓に鉄粉や鉄片を付着したままにしないでください。サビの原因になり、排水栓の動きも悪くなります。
- 排水栓の操作を勢いよく行わないでください。排水栓が飛び出す恐れがあります。
- 大量に泡を流すと泡の種類によってはオーバーフロー穴から泡が出ることがあります。

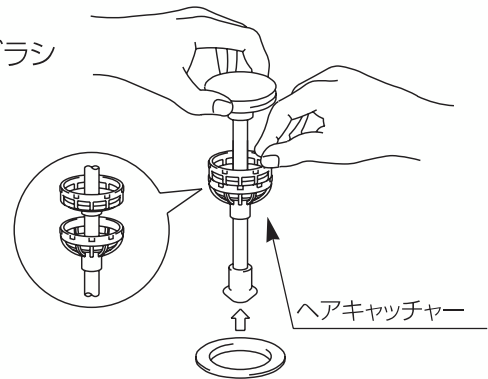
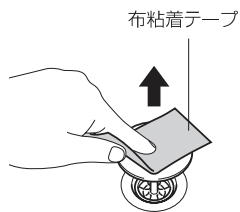
お手入れ方法

■日々のお手入れ

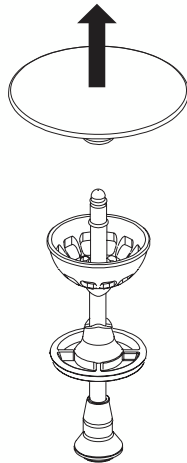
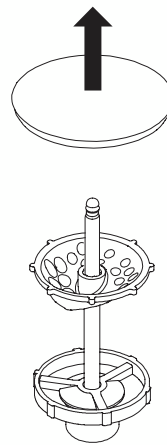
排水栓の磁石部に鉄粉や鉄片が付着している場合は、乾いた布などで付着物をつまみ取るように取り除いてください。変色や作動不良の原因になります。

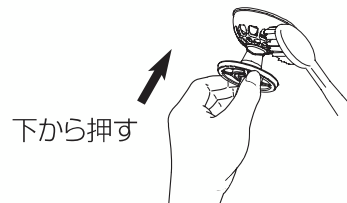
排水口(ヘアキャッチャー)

●排水栓を上方に引き抜きます。ヘアキャッチャー部分についているゴミを取り除き、排水栓を元通りはめ込みます。
●排水口内にぬめりがある場合は、浴室用洗剤をつけた歯ブラシ等でこすり落としてください。

ヘアキャッチャーと軸の間に砂等がかむと、排水栓が上がらなくなることがあります。そのときは、排水栓に布粘着テープを貼ったまま持ち上げて外してください。

■洗面器一体形の場合

仕様のため、弁を外してお手入れが出来ます。

〈ラクとれヘアキャッチャー〉
(GS-600Nの場合)

〈ソコまでてまなし排水口〉
(GC-600Nの場合)

ワンポイント

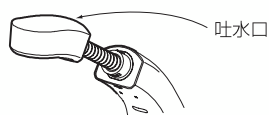
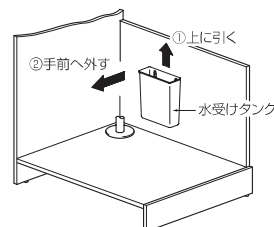
ラクとれヘアキャッチャーの場合、押し上げて固定すると、ヘアキャッチャーが回らず、お手入れがしやすくなります。

水受けタンク

化粧台本体の引出しや配管パネルを取り外してください。
※引出しと配管パネルの取り外し方については、15〜23ページ「キャビネットを使う」をご覧ください。

⚠ 注意

水受けタンクのおそうじをする際は、必ず引出しや配管パネルを取り外してください。
※引出しや配管パネルが外れて破損したり、ケガをする恐れがあります。

水栓金具の吐水口を引き出します。

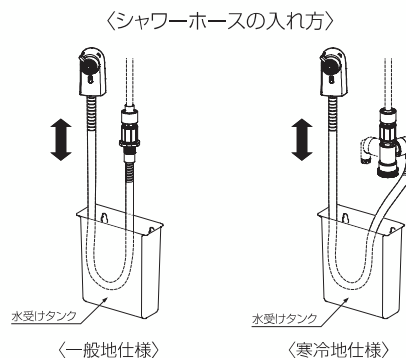
③

水受けタンクを上にずらし、手前に引いて取り外します。

④

水受けタンクの中やその周辺を点検し、水が落ちているようなら、乾いた柔らかい布でふきとります。

⑤

水をふきとった後は、取外し方と逆の手順でタンクを元通りに取り付けます。

⑥

水栓金具の吐水口を元の位置に戻し、シャワーホースを水受けタンクの中に入れます。

⑦

①で引出しや配管パネルを取り外した場合は、必ず引出しや配管パネルを取り付けてください。

⚠ 警告

分解・修理・改造についての警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。

⚠ 注意

凍結に注意!!

凍結が予想される場合は、水栓から少量の水を出したままにしてください。
※凍結破損により漏水し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

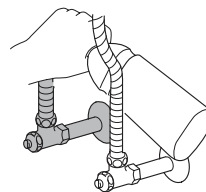
(水抜栓がある場合)
凍結が予想される場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作をしてください。
※詳細については「冬期凍結の恐れがある場合(48ページ)」をご覧ください。

ヤケドに注意!!

お湯を使用しているとき、また使用直後はキャビネット内の給湯側の金属部分に直接肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

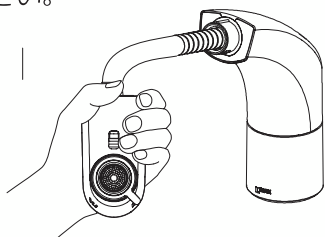
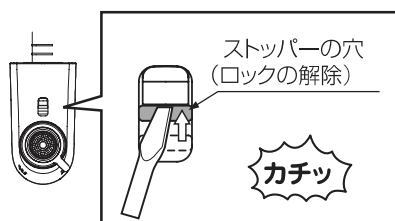
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

吐出量が少なくなったと感じたら

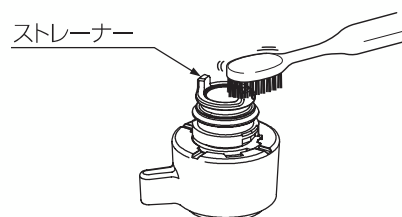
吐出口が詰まっている恐れがあります。吐出口のつまりは水栓の機能を低下させますので、水の出が悪くなったと感じたら、次の手順でお手入れしてください。

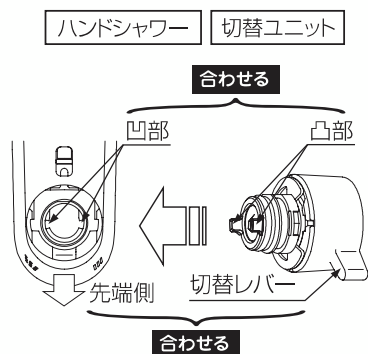
※詳細は水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

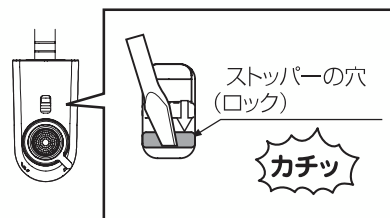
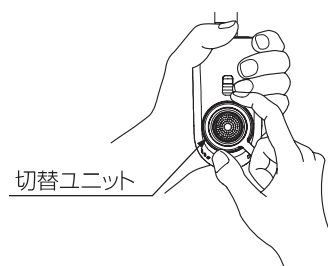
吐出口のお手入れ

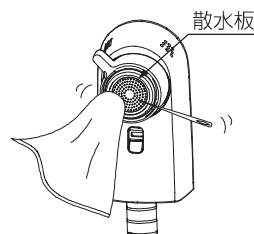
SF-810SY(N)-MB3の場合

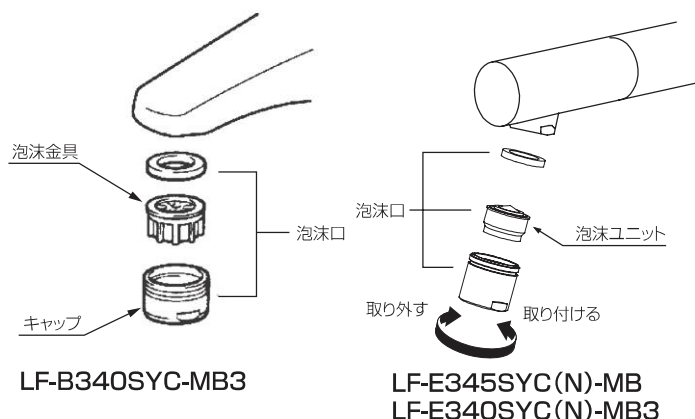
①ハンドシャワーを引き出し、裏向きにしてください。

②小型のマイナスドライバーでストッパーの穴をスライドさせて、ロックを解除します。

③切替ユニットを引っ張り、取り外してください。

④取り外した切替ユニットのストレーナーを、歯ブラシ等で掃除してください。

⑤切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。
※切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。

⑥②の逆の要領で、ストッパーに穴をスライドさせてロックします。

※固くてスライドできなければ、㈭に戻り、切替ユニットをしっかりと差し込んでからやり直してください。

⑦切替ユニットを引っ張って、外れないことを確認してください。

■散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。
また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。

LF-E345SYC(N)-MB、LF-E340SYC(N)-MB3、LF-B340SYC-MB3の場合

①泡沫口の紛失を防ぐため、洗面器の排水栓を閉じます。
②泡沫口を工具(スパナまたはモンキーレンチ)で左に回し、取り外します。
※水栓に直接工具を掛けると、キズがつく恐れがあります。必ず布を当てて工具を掛けてください。
③内部のユニットを水洗いしてゴミを取り除き、元どおりに取り付けます。

LF-B340SYC-MB3

LF-E345SYC(N)-MB
LF-E340SYC(N)-MB3

水量を調節する

吐出量の調節は止水栓を操作して行ってください。

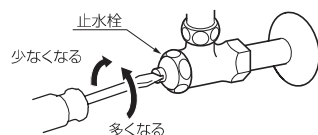
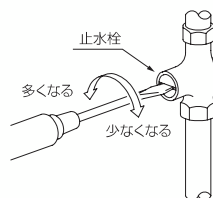
お願い

止水栓を閉めるときは何回回したかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要になります。
※元の位置に戻しておかないと施工時と設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる恐れがあります。

1 水栓のハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）をマイナスドライバーで回して適量に調節します。

2 水栓のハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの位置の吐出量と同じになるように水側止水栓（向かって右）をマイナスドライバーで回して調節します。

3 ハンドル中央の位置で吐出し、問題となる水はねがないかを確認します。

●壁給水の場合

●床給水の場合

止水栓の操作
水量を多くする……調節部を左に回す
水量を少なくする…調節部を右に回す
閉める………………調節部を右にいっぱい回す

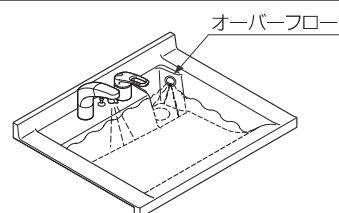
※上記調節方法はドライバー式止水栓の例です。

ワンポイント

シャワー水栓（SF-810SY（N）-MB3）の場合、流量が少ないと使用感が悪くなり、流量が多いと水はねが起こる可能性があります。ハンドル中央の位置で全開にしたとき、6.5L/分程度（下記を参照ください）の流量に調整してください。

●流量6.5L/分の目安

①オーバーフロー（洗面器に水をため、オーバーフロー内へ水があふれ出す）までの時間が下表になります。
②市販の洗面バケツ（容量3L）を一杯にするのに約30秒かかります。

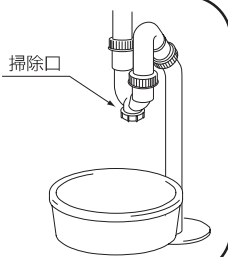
カウンター、洗面器タイプ	オーバーフローまでの時間
GS-600N（洗面ボウル一体カウンター）	約1分40秒
GC-600N（洗面ボウル一体カウンター）	約1分50秒
GM-600N+GL-9105V（洗面器別体カウンター）	約2分40秒

排水が遅いと感じたら

排水トラップのお手入れ

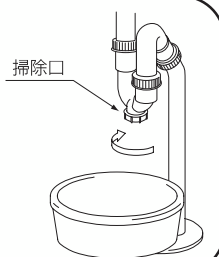
化粧台本体の引出しや配管パネルを取り外してください。
※引出しと配管パネルの取り外し方については、15～23ページ「キャビネットを使う」をご覧ください。

⚠ 注意

●排水トラップのお手入れをする際は、必ず引出しや配管パネルを取り外してください。
※引出しや配管パネルが外れて破損したり、ケガをする恐れがあります。

排水トラップの掃除口の真下に封水を受ける容器を置きます。

③

掃除口を手で回して取り外し、ゴミを取り除きます。

④

掃除口を元通り取り付けます。

水栓から水を流し、排水トラップから水が漏れていないことを確認します。

①で引出しや配管パネルを取り外した場合は、必ず、引出しや配管パネルを取り付けてください。

⚠ 注意

●ナット類はしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。
●上記以外の締付ナット等に触れたり、外したりしないでください。
●パッキン、ワッシャーにキズや変形が見られた場合、必ず交換してください。

ワンポイント

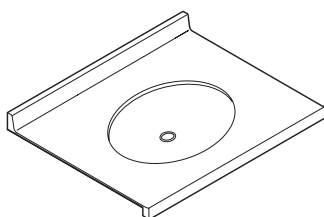
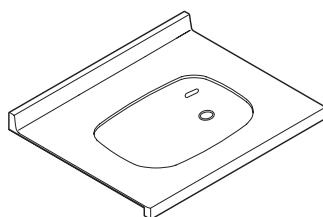
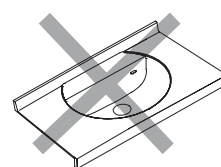
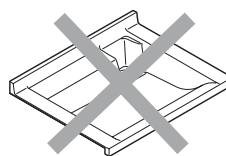
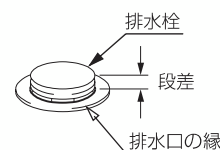
排水トラップに水を流さないと、封水（下水からの臭いを遮断するため、管内にためておく水）が少なくなり、排水口から下水の臭いが漏れてくる恐れがあります。排水トラップのお手入れ終了後は各部を確実に取り付け、必ず水を10秒以上流してください。

洗面器に水がたまらないと感じたら

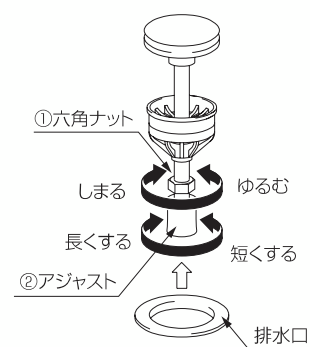
排水栓の調節（洗面器別体形のみ）

※排水栓の長さが調節できるのは、下記の洗面器別体形のみです。

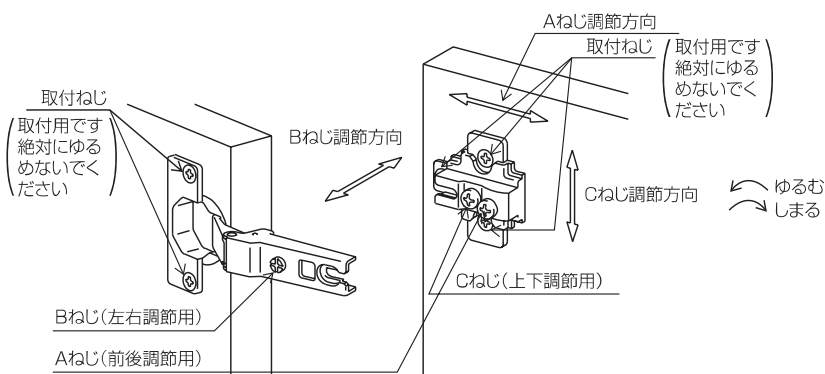
●洗面器別体形

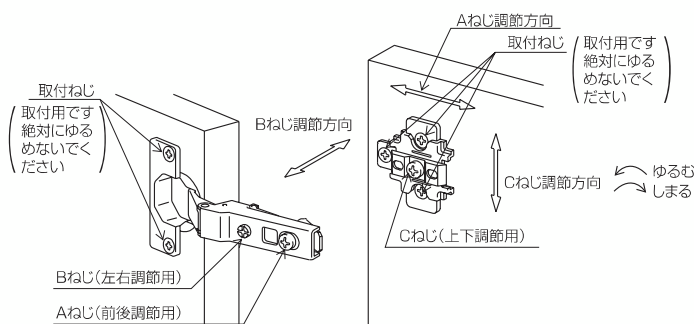
洗面器: GL-2295（洗面タイプ）

洗面器: GL-9105V（洗髪タイプ）

※洗面器一体形は排水栓の調整は不要です。

排水栓を「閉」にしても、排水栓と排水口の縁に段差がある（排水栓がきちんと閉まらない）場合は、排水栓と排水口の縁が同じ高さになるよう、排水栓の長さを調節してください。

① 六角ナットをゆるめます。

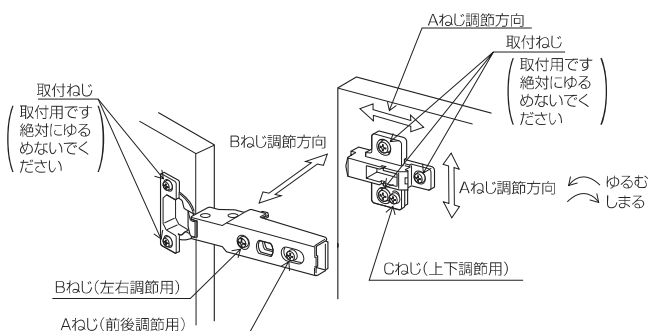
② アジャストを回して弁の長さを調整します。

③ 排水栓を排水口に取り付けて段差がないことを確認したら、六角ナットを締め直します。

扉の調節方法

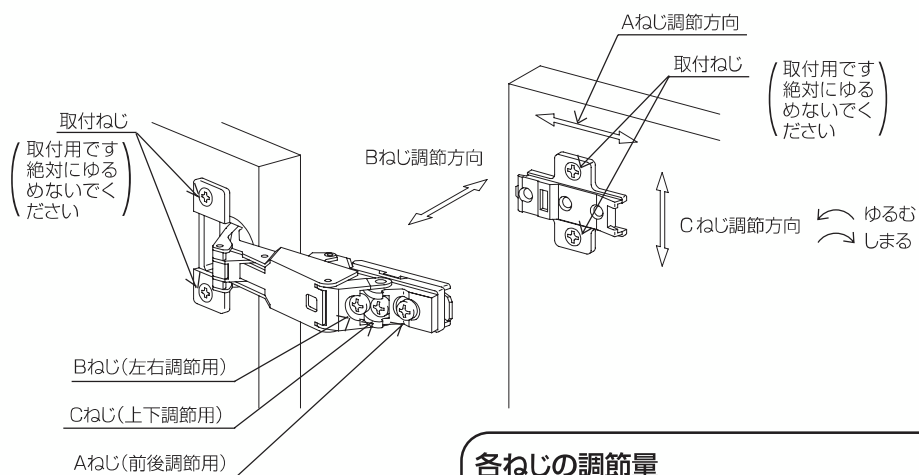
（1） 扉の調節

(a)洗面化粧台・サイドベースキャビネット(ねじ固定式)の場合

各ねじの調節量
Aねじ…前方向 2.0mm
後方向1.0mm
Bねじ…右へ回す→
手前へ4.0mm
左へ回す→
後方へ1.0mm
Cねじ…上方向 1.5mm
下方向1.5mm

(b)ミドルキャビネット・トールキャビネット・アッパーキャビネット(ワンタッチ式)の場合

各ねじの調節量
Aねじ…前方向 2.0mm
後方向1.0mm
Bねじ…右へ回す→
手前へ4.0mm
左へ回す→
後方へ1.0mm
Cねじ…上方向 1.5mm
下方向1.5mm

●トールキャビネット姿見タイプの場合

各ねじの調節量
Aねじ…前方向 1.0mm
後方向1.0mm
Bねじ…右へ回す→
手前へ2.0mm
左へ回す→
後方へ2.0mm
Cねじ…上方向 2.0mm
下方向2.0mm

(C)トールキャビネット(ワンタッチ式)(GSS-156ML(R)(-D))の場合

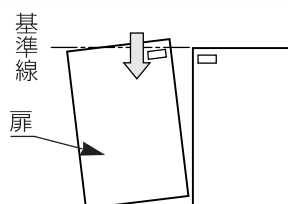
取付ねじ
（取付用です絶対にゆるめないでください）
Bねじ調節方向
Aねじ調節方向
取付ねじ
（取付用です絶対にゆるめないでください）
Cねじ調節方向
ゆるむ
しまる
Bねじ(左右調節用)
Cねじ(上下調節用)
Aねじ(前後調節用)

各ねじの調節量

Aねじ…前方向 2.0mm、後方向2.0mm
Bねじ…右へ回す→手前へ 2.0mm
　　　　左へ回す→後方へ2.0mm
Cねじ…上方向 2.0mm、下方向2.0mm

⚠ 注意

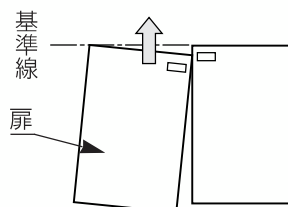
調節後は必ず、Aねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと、蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

扉の先端が上がっているとき

① 扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。

② 扉を閉めて確認します。

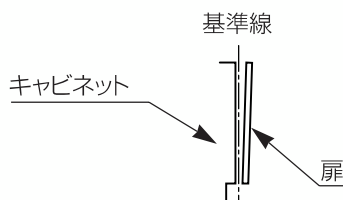
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

扉の先端が下がっているとき

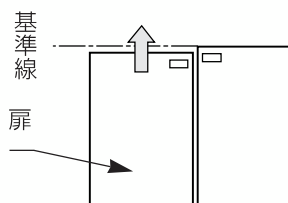
① 扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。

② 扉を閉めて確認します。

③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

扉と側板のすき間が上下異なるとき

① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。

② 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

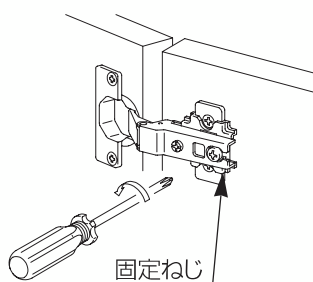
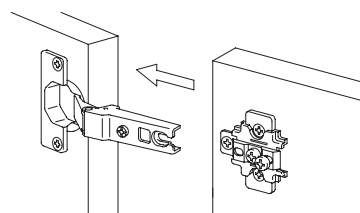
扉の位置が上下異なるとき

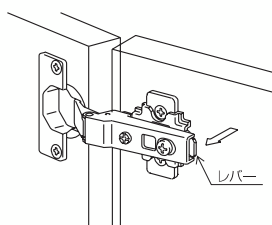
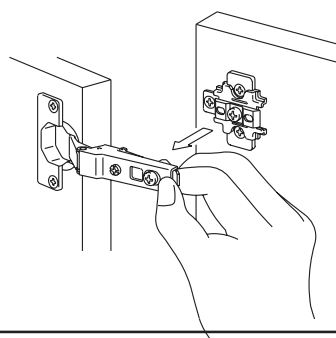
① 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。

② 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。

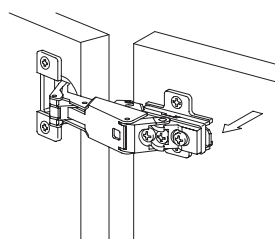
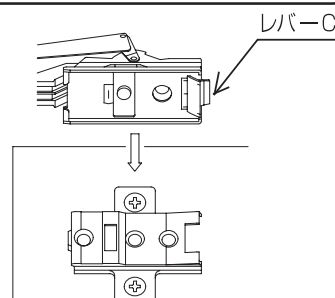
- Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
- 2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

（2） 扉の取外方法

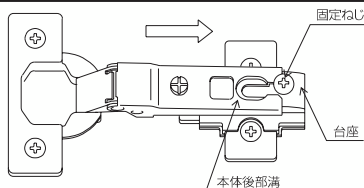
(a)洗面化粧台・サイドベースキャビネット(ねじ固定式)の場合

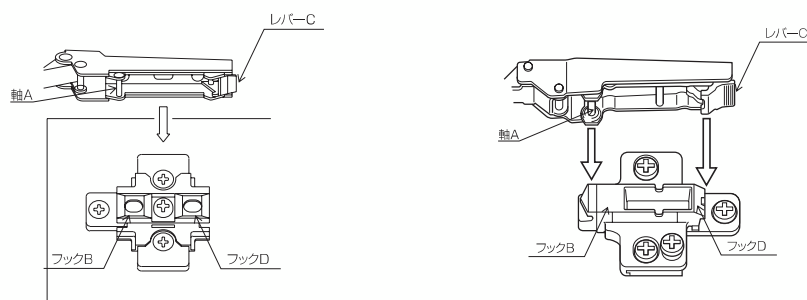
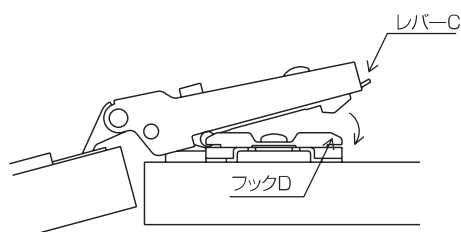
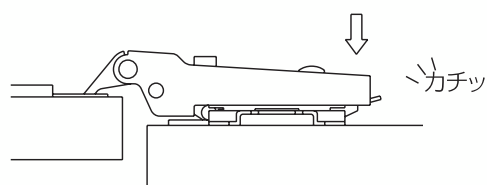
① 固定ねじをドライバーで
ゆるめます。

② 扉を矢印の向きに引っ張って、
取り外します。

(b)ミドルキャビネット・トールキャビネット・アッパーキャビネット(ワンタッチ式)の場合

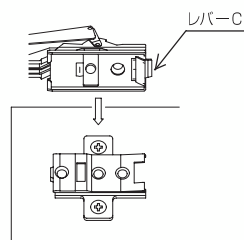
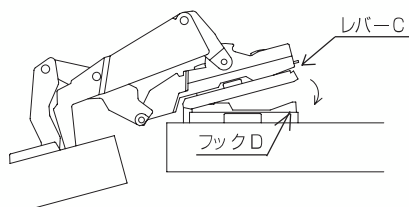
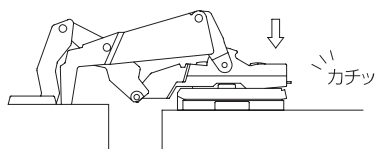
① 蝶番のレバーを矢印の向きに
引っ張ります。

② 蝶番を矢印の向きに引っ張って、
取り外します。

(C)トールキャビネット(ワンタッチ式)(GSS-156M(L)(-D))の場合

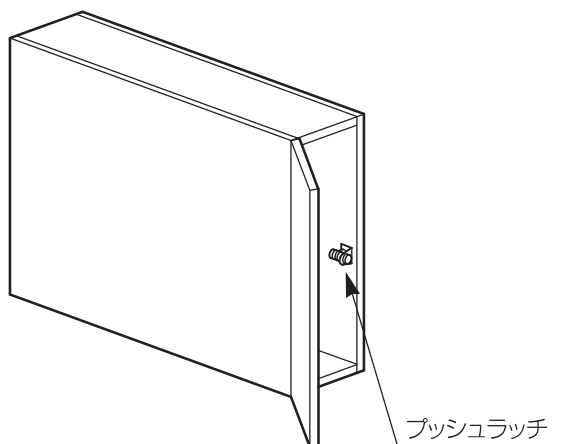
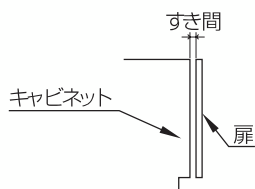
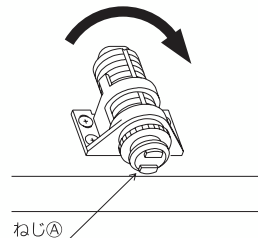
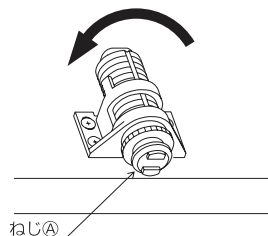
① 蝶番のレバーCを矢印の向きに
引っ張ります。

② 蝶番を矢印の向きに引っ張って、
取り外します。

（3） 扉の取付方法

(a)洗面化粧台・サイドベースキャビネット（ねじ固定式）の場合

① 本体後部溝を台座固定ねじに差し込み固定ねじを締め付けます。

(b)ミドルキャビネット・トールキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合

① 蝶番の軸AをフックBに引っ掛けます。

② 蝶番のレバーCをフックDに合わせます。

③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。

(C)トールキャビネット(ワンタッチ式)(GSS-156L(R)(-D))の場合

① 蝶番の軸AをフックBに引っかけます。

② 蝶番のレバーCをフックDに合わせます。

③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。

プッシュ扉開閉が滑らかでなくなったら

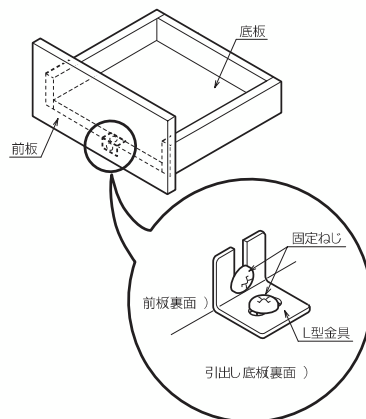
アッパーキャビネット・トールキャビネットの場合

1 扉と本体のすき間を確認します。
（基準値:すき間2mm）

2 すき間が大きい場合:
プッシュラッチのⒶねじを右に回します。

3 すき間が小さい場合:
プッシュラッチのねじⒶを左に回します。

4 扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

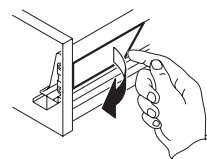
引出しの調節方法

引出しの仕様はキャビネットにより異なります。
P23で該当タイプをご確認ください。

引出し前板の調節（Bタイプ）

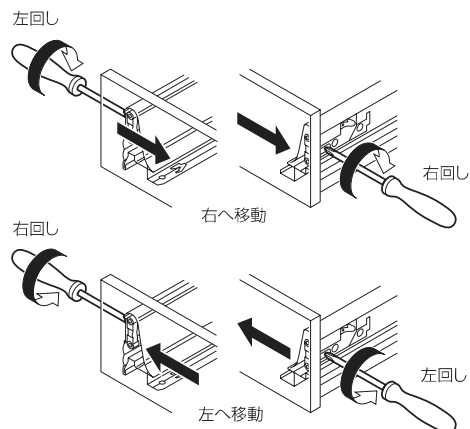
●調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けてあります。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじをゆるめて（金具が動く程度）から行ってください。
また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

●引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。

①左右の調節

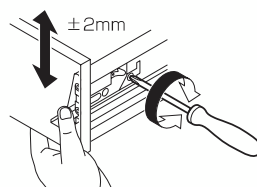
右図のように、左右調節ねじを回し調節します。

・右へ移動する場合：右側ねじを右へ回し、左側ねじを左へ回す。
・左へ移動する場合：右側ねじを左へ回し、左側ねじを右へ回す。

※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各1mm（計2mm）程度。

②上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。

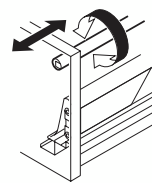
・上へ移動する場合：ねじを右へ回す。
・下へ移動する場合：ねじを左へ回す。

※調節範囲：上下方向に各2mm（計4mm）程度。

③前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し、前板の傾きを調節します。

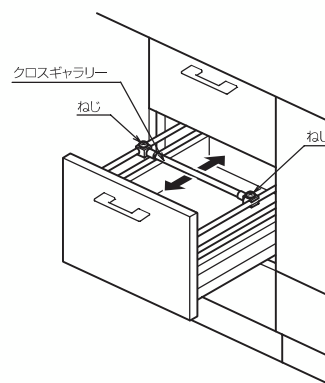
・前板を手前へ倒す場合：左へ（前板正面から見て）回す。

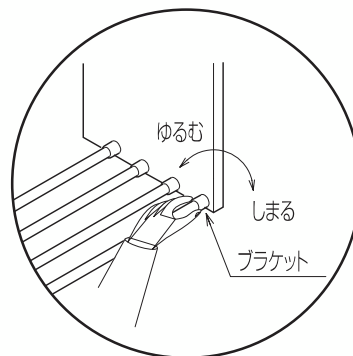
・前板を後方へ倒す場合：右へ（前板正面から見て）回す。

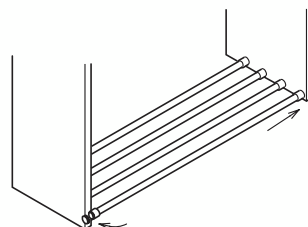
※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調節しろです。

クロスギャラリーの調節(Bタイプ)

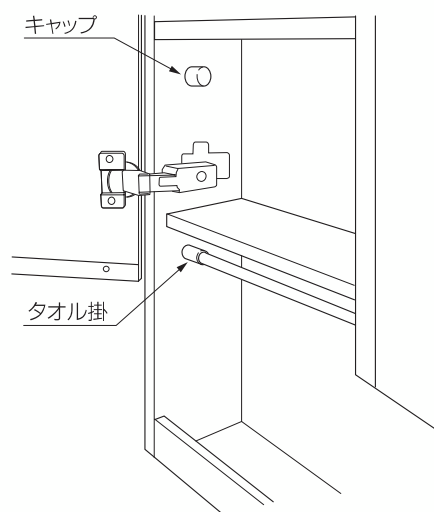
クロスギャラリーを前後方向に移動させる場合は、プラスドライバーを使用し、クロスギャラリー両端(樹脂部)のねじをゆるめます。
移動完了後に、ねじを締め付け直します。

お願い

ねじを締め付ける際は、締め付けすぎないようにしてください。
※樹脂製品のため、破損する可能性があります。

タオル掛がゆるんできたら
（ランドリーキャビネット・150サイズトールキャビネット・スキマユニットの場合）

ブラケット内部は、ねじ構造となっています。台座に合わせて回転させて取り付けてください。

②

タオル掛が外れてしまった場合
片側のブラケットを閉めておき、タオル掛の片側を取り付けたブラケットに差し込みます。それからバーの反対側に、もう一個のブラケットを通し台座とブラケットの位置を合わせて、①と同様に取り付けます。

タオル掛の取付位置（150サイズトールキャビネットの場合）

タオル掛は上下のいずれにも取付可能です。
タオル掛けを使用しない側は、付属のキャップを取付けます。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓の水抜き（寒冷地仕様）

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、下記の手順で必ず水抜きを実施してください。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財等をぬらす拡大損害の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

シングルレバーシャワー水栓（SF-810SYN-MB3）の場合

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓑの下に洗面器等をあてがった後、水抜栓Ⓑを矢印の方向に回して開ける。

※そのまま30秒間放置する。

※洗面器等で排出される水を受けてください。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

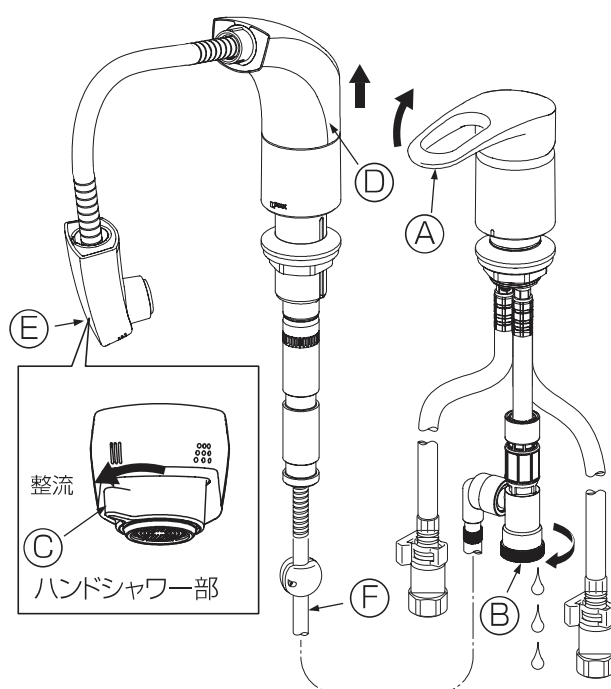
⑤ 吐水口レバーⒸを整流に切り替える。

⑥ ガイド管Ⓓを引き上げ、ハンドシャワーⒺを引き出し、振って水をよく切る。

⑦ ホースⒻを水抜栓Ⓑより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑧ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルⒶを閉める。

※水抜完了後は忘れずに水抜栓Ⓑを閉めてください。

冬期凍結の恐れがある場合（水栓の水抜き）

吐水口引出式シングルレバー混合水栓（LF-E345SYCN-MB）の場合）

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルⒶを上げる。

③ 水抜栓Ⓓの下に洗面器をあてがった後、水抜栓Ⓓを矢印の方向に回して開ける。

④ レバーハンドルⒶを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。

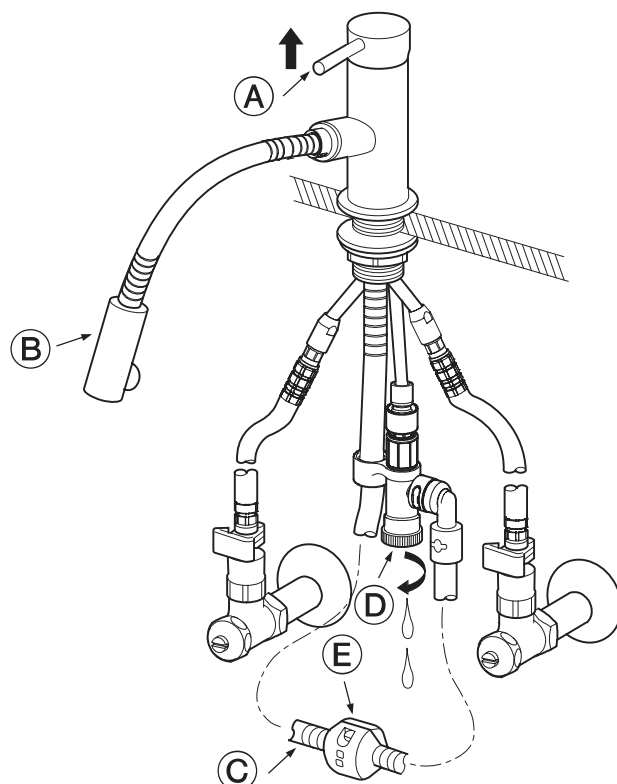
⑤ 吐水口部Ⓑを引き出し、振って水をよく切る。

⑥ ホースⒸを水抜栓Ⓓより上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。

⑦ 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルⒶを閉める。

※開けたまま放置するとレバーハンドルⒶを閉止できなくなることがあります。
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

※水抜き完了後は忘れずに水抜栓Ⓓを閉めてください。

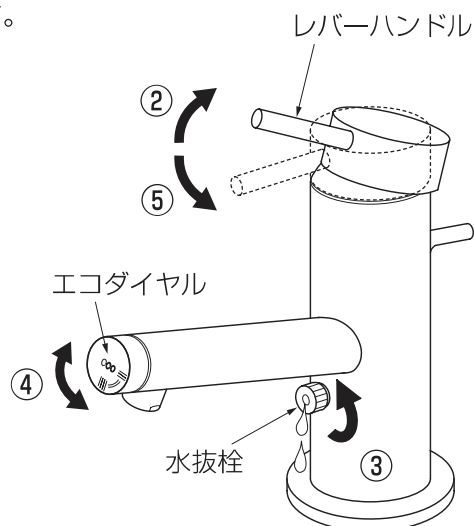
※ホースストッパーⒺを外した場合は、元の位置に取り付けてください。

シングルレバー混合水栓（LF-E340SYCN-MB3の場合）

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドルを中央位置にあわせて上げます。
（水と湯の中間で全開にする。）

③ 水抜栓を下に回して開けます。

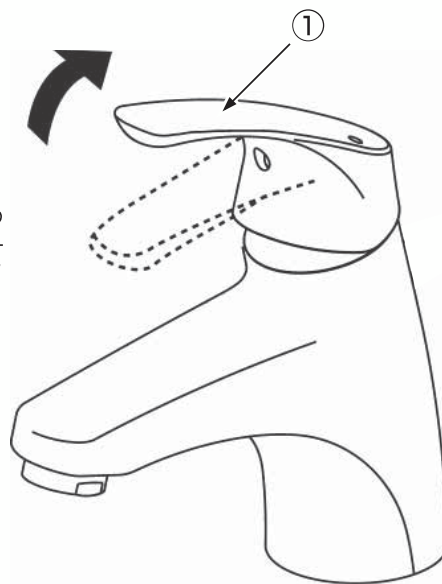
④ エコダイヤルを2～3回左右に回します。

⑤ 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを閉めます。
※開けたまま放置すると、凍結してレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。
その場合は無理な操作をせず、通水または自然解凍してください。
※再通水前には水抜栓を閉めてください。

シングルレバー混合水栓（LF-B340SYC-MBの場合）

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドル①を中央位置に合わせ全開にする。

③ 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉める。
※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

故障かな？と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■キャビネット

Q	A	処置	参照ページ
カラクリスライドタイプの引出しが奥までいかない	ロックがかかっている、引出し底板を倒していない	ロックを解除します、引出し底板を倒します	P20
カラクリスライドタイプの扉面が合わない	ロックがかかっていない	ロックをかけます	P22
扉がガタついている	蝶番がゆるんでいる	蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら、調整します	P38
扉の先端が上がっている 扉の先端が下がっている 扉と側板のすき間が上下で異なる 扉の位置が上下異なる	蝶番がゆるんでいる	扉のずれを調整します	P40~43
引き出しの開閉が滑らかでない	引出し前板がずれている	引出し前板のずれを調節します	P45~46
プッシュ式扉の開閉が滑らかでない	プッシュラッチの調節が十分でない	ラッチの調節をします	P44
タオル掛がゆるんできた	ブラケットを固定しなおします		P47

■洗面器

Q	A	処置	参照ページ
洗面器が割れたとき	応急処置としてガムテープを貼り、使用せずに修理を依頼する		P53

■排水口

Q	A	処置	参照ページ
水がたまらない	排水栓が長すぎる（洗面器別体形のみ）	排水栓の長さを調節します	P37
	排水栓の変形、パッキンの傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P53~54
洗面器から水があふれる	止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P35
排水しない、あるいは排水がスムーズでない	排水口（ヘアーキャッチャー）が詰まっている	排水口やヘアーキャッチャーをそうじします	P30
	排水管が詰まっている	排水トラップをそうじします	P36
排水栓が開閉しない	ゴミや砂がかんでいる	排水栓やヘアキャッチャーをそうじします	P30

■排水管

Q	A	処置	参照ページ
漏水する	排水管の接続がしっかり締め付けられていない	締付ナットをしっかり締めます	P36
	パッキンの傷み・変形	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P53~54

■水　栓

Q	A	処置	参照ページ
吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P35
	ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのそうじをします	P33～34
	給湯機器の能力切替が低めに設定されている（給湯の能力が不足している）	給湯機器の能力を高く設定します（給湯機器の取扱説明書を見てください）	
	浴室等で湯を使っている	他の場所で湯を使わないようにします	
水が止まらない	パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P53～54
水を止めた後に、少しの間水が垂れる	構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	故障ではありません	P11

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(51ページ)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
●異常を感じたとき

上記の場合そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

分解・修理・改造についての警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。

2.保証書をご覧ください。

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常等については保証の対象となりませんのでご注意ください。

●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
●水栓の止水パッキン、籐カゴ等の消耗品

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ･おところ･電話番号
●商品名･品番←63ページの「品番を調べる」参照
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容･異常の状況（できるだけ詳しく）←51ページの「故障かな?と思ったら」参照
●ご訪問希望日

※お客様からご連絡頂く氏名や住所等の個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。
なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客様の個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先･アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、またはLIXIL修理受付センターに連絡してください。
●お求めの取扱店
●LIXIL 修理受付センター

TEL ☎ 0120-1794-11
受付時間9:00〜20:00
FAX ☎ 0120-1794-56

ホームページアドレス　　http://www.i-mate.co.jp

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合があります。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

洗面化粧台

■化粧台本体　品番一覧〈コンポタイプ〉

(引出しタイプ)

間口(mm)		750	900	1000	1200	1200(L/R)	1350(L/R)
品番	シングルレバーシャワー水栓	GSH-755SY	GSH-905SY	GSH-1005SY	GSH-1205SY	GSH-1205SYL(R)	GSH-1355SYL(R)
	シングルレバー混合水栓	GSH-755Y	GSH-905Y	GSH-1005Y	GSH-1205Y	GSH-1205YL(R)	GSH-1355YL(R)

(フルスライドタイプ)

間口(mm)		750	900	1000	1200	1200(L/R)	1350(L/R)
品番	シングルレバーシャワー水栓	GSFH-755SY	GSFH-905SY	GSFH-1005SY	GSFH-1205SY	GSFH-1205SYL(R)	GSFH-1355SYL(R)
	シングルレバー混合水栓	GSFH-755Y	GSFH-905Y	GSFH-1005Y	GSFH-1205Y	GSFH-1205YL(R)	GSFH-1355YL(R)

(カラクリスライドタイプ)

間口(mm)		750	900	1000(L/R)	1200(L/R)	1350(L/R)
品番	シングルレバーシャワー水栓	GSNO-755SY-A	GSNO-905SY-A	GSNO-1005SYL(R)-A	GSNO-1205SYL(R)-A	GSNO-1355SYL(R)-A
	シングルレバー混合水栓	GSNO-755Y-A	GSNO-905Y-A	GSNO-1005YL(R)-A	GSNO-1205YL(R)-A	GSNO-1355YL(R)-A

(ステップスライドタイプ)

間口(mm)		750	900	1000(L/R)	1200(L/R)	1350(L/R)
品番	シングルレバーシャワー水栓	GSCH-755SY	GSCH-905SY	GSCH-1005SYL(R)	GSCH-1205SYL(R)	GSCH-1355SYL(R)
	シングルレバー混合水栓	GSCH-755Y	GSCH-905Y	GSCH-1005YL(R)	GSCH-1205YL(R)	GSCH-1355YL(R)

■化粧台本体　仕様表〈コンポタイプ〉

間口(mm)	750	900	1000	1200	1350
品番	品番一覧〈コンポタイプ〉(71ページ)をご覧ください				
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	750×600×850	900×600×850	1000×600×850	1200×600×850	1350×600×850
水栓金具	シングルレバーシャワー水栓　SF-810SY(N)-MB3 シングルレバー混合水栓　LF-B340SYC-MB3 ※一般地・寒冷地共通				
排水器具	ポップアップ式排水栓(ヘアキャッチャー付)　LF-PR5G-C				
本　体	木組構造(パーティクルボード、MDF、合板)				
カウンター	人造大理石(ポリエステル系樹脂)　洗面器容量11L				
カウンターサイズ (幅×奥行×高さ)	750×500×250	900×500×250	1000×500×250	1200×500×250	1350×500×250
扉カラー	JD4　:　レザーブラウン　(DAP化粧版) JL4　:　レザーホワイト　(DAP化粧版) XZ4　:　バークブラック　(PET系樹脂化粧版) XM4　:　バークブラウン　(アクリル系樹脂化粧版) XN4　:　バークライト　(アクリル系樹脂化粧版) TH2　:　ネオホワイト　(DAP化粧版) TB2　:　ネオベージュ　(DAP化粧版) TE2　:　ネオブルー　(DAP化粧版)				
付属品	水受けタンク、排水トラップ、ウェットパレット				

■洗面化粧台の品番の見方

（コンポタイプ）

品番									／	色番	
GS	FH	-	120	5S	L	N	-A	-D	／	RM5	H
①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩

（システムタイプ:ベースキャビネット）

品番								／	色番
GS	H	-	120	6	L	-A	-D	／	RM5
①	②		③	④	⑤	⑦	⑧		⑨

仕様

① GS…　シリーズ名
　GM…　シリーズ名
② H……　引出しタイプ
　FH……　フルスライドタイプ
　NO…　カラクリスライドタイプ
　CH…　ステップスライドタイプ
③ 75…　間口　750mm
　90……　間口　900mm
　100…　間口　1000mm
　100…　間口　1000mm
　120…　間口　1200mm
　120…　間口　1200mm
　135…　間口　1350mm
　135…　間口　1350mm

④ **◆コンポタイプの場合**
　5SY…　シングルレバー洗髪シャワー水栓
　5Y……　シングルレバー混合水栓
　◆システムタイプの場合
　6……　奥行き　600mm
⑤ L……　洗面器が左寄り
　R……　洗面器が右寄り（中央は品番無し）
⑥ N……　寒冷地仕様（一般仕様は品番無し）
⑦ -A…　ソフトサイレンス仕様
　（ソフトサイレンスなしの場合は品番なし）
⑧ -D……　カウンター高さ750mm仕様
　（その他の高さの場合は品番なし）

⑨ JD4…　扉色　レザーブラウン　（DAP化粧版）
　JL4…　扉色　レザーホワイト　（DAP化粧版）
　XZ4…　扉色　バークブラック　（PET系樹脂化粧版）
　XM4…　扉色　バークブラウン　（アクリル系樹脂化粧版）
　XN4…　扉色　バークライト　（アクリル系樹脂化粧版）
　TH2…　扉色　ネオホワイト　（DAP化粧版）
　TB2…　扉色　ネオベージュ　（DAP化粧版）
　TE2…　扉色　ネオブルー　（DAP化粧版）
⑩ H……　カウンター色　プレーンホワイト
　C……　カウンター色　クールホワイト
　J……　カウンター色　ウォームベージュ

■カウンター〈システムタイプ〉

品番	●洗面器一体形カウンター ：GS-600N（間口） ●洗面器一体形カウンター ：GC-600N（間口） ●洗面器別体形カウンター ：GM-600N（間口）
サイズ （幅×奥行×高さ）	（間口）×600×850（ベースキャビネット含む）
材質	人造大理石（ポリエステル系樹脂）
洗面ボウル容量	●洗面器一体形カウンター ：11L ●洗面器別体形カウンター ：GL-9105V洗面器（洗面タイプ）：17L ：GL-2295洗面器（洗髪タイプ）：11L ※カウンターのタイプについては、P35をご参照ください。
カラー	●洗面器一体形カウンター PH-01：プレンネオホワイト　PW-08：クールホワイト　PB-08：ウォームベージュ ●洗面器別体形カウンター K-01：クレセアホワイト　K-51：クレセアブルー　GR-03：グラニットホワイト GR-95：グラニットブラック　T-31：ライムストーンベージュ　BW-01：ピュアホワイト S-03：シークレストホワイト　S-21：シークレストアイボリー
付属品	水受けタンク、排水トラップ、ウェットパレット（洗面器一体形のみ）

■水栓金具

水栓金具	シングルレバーシャワー水栓　SF-810SY(N)-MB3 吐水口引出式シングルレバー混合水栓　LF-E345SYC(N)-MB シングルレバー混合水栓　LF-B340SYC-MB3 シングルレバー混合水栓　LF-E340SYC(N)-MB3
排水器具	ポップアップ式排水栓（ヘアキャッチャー付） ·洗面器一体形カウンター用：GS-600N用：LF-PR5G-C ·洗面器一体形カウンター用：GC-600N用：LF-GR5G-BP、LF-GR-HC ·洗面器別体形カウンター用：GL-9105V洗面器（洗髪タイプ）用：LF-PD5G-C GL-2295洗面器（洗面タイプ）用：LF-SG5G-A ※カウンターのタイプについては、2ページをご参照ください。

■その他のキャビネット

共通項目

本　体	木組構造（パーティクルボード、MDF、合板）
扉カラー	JD4　：　レザーブラウン　（DAP化粧版） JL4　：　レザーホワイト　（DAP化粧版） XZ4　：　バークブラック　（PET系樹脂化粧版） XM4　：　バークブラウン　（アクリル系樹脂化粧版） XN4　：　バークライト　（アクリル系樹脂化粧版） TH2　：　ネオホワイト　（DAP化粧版） TB2　：　ネオベージュ　（DAP化粧版） TE2　：　ネオブルー　（DAP化粧版）

アッパーキャビネット

品　番	GSU-156C	GSU-256C	GSU-306C	GSU-456C	
サイズ（mm） （幅×奥行×高さ）	150×600×400	250×600×400	300×600×400	450×600×400	
付属品	—	—	—	—	

品　番	GSU-154C	GSU-254C	GSU-304C	GSU-454C	GSU-654C
サイズ（mm） （幅×奥行×高さ）	150×450×400	250×450×400	300×450×400	450×450×400	650×450×400
付属品	—	—	—	—	—
品　番	GSU-754C	GSU-804C	GSU-854C	GSU-904C	GSU-954C
サイズ（mm） （幅×奥行×高さ）	750×450×400	800×450×400	850×450×400	900×450×400	950×450×400
付属品	—	—	—	—	—
品　番	GSU-1004C	GSU-1054C	GSU-1104C	GSU-1154C	GSU-1204C
サイズ（mm） （幅×奥行×高さ）	1,000×450×400	1,050×450×400	1,100×450×400	1,150×450×400	1,200×450×400
付属品	—	—	—	—	—

トールキャビネット

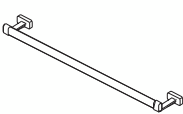
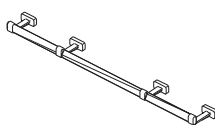
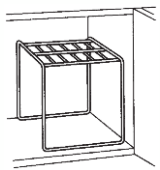
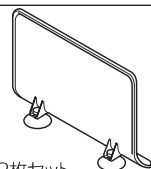
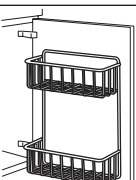
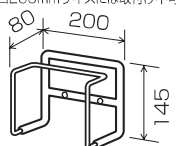
品　番	GSS-156ML(R)	GSS-256L(R)	GSS-306L(R)	GSS-306ML(R)	GSS-306DL(R)
タイプ	鏡扉	標準	標準	姿見	ランドリー
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	150×600×1,900	250×600×1,900	300×600×1,900	300×600×1,900	300×600×1,900
付属品	棚板(4枚) タオル掛	棚板(2枚)	棚板(2枚)	棚板(2枚) 網カゴ(3個)	棚板(2枚) 網カゴ

品　番	GSS-456L(R)	GSS-456DL(R)	GSIS-306DL(R)	GSIS-456DL(R)
タイプ	標準	ランドリー	ランドリー	ランドリー
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	450×600×1,900	450×600×1,900	300×600×1,900	450×600×1,900
付属品	棚板(2枚)	棚板(2枚) 網カゴ	棚板(2枚) 網カゴ	棚板(2枚) 網カゴ

ミドルキャビネット

品　番	GSK-252L(R)	GSK-302L(R)	GSK-452L(R)
タイプ	標準	標準	標準
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	250×242×1050	300×242×1050	450×242×1050
付属品	棚板(2枚) タオル掛	棚板(2枚) タオル掛	棚板(2枚) タオル掛

品　番	GSK-252ML(R)	GSK-302ML(R)	GSK-452ML(R)
タイプ	鏡扉	鏡扉	鏡扉
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	250×252×1050	300×252×1050	450×252×1050
付属品	棚板(2枚) タオル掛	棚板(2枚) タオル掛	棚板(2枚) タオル掛

スキマユニット

品　番	GSA-156U	GSA-156S	GSA-156B
タイプ	アッパー	トール	トール
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	75×600×850	75×170×1,900	75×600×750
付属品	—	—	—

L型収納パック

品　番	LCVS-2517SL(R)	LCVS-2517SEL(R)
タイプ	両側パネル	パネル+対面収納
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	(間口)×250×1,900	(間口)×250×1,900
付属品	固定棚板(1枚) 物干し準備バー	固定棚板(1枚) 物干し準備バー 棚板(4枚)

オプション品

※価格は2010年4月現在のものです。※仕様･価格は予告なく変更する場合があります。

品名	マルチハンガー		サイドバスケット	ラック
品番	BB-LCV5(750) BB-LCV5(900)	BB-LCV5(1000) BB-LCV5(1200)	BB-TD1-23	BB-EX1
主な材質	アルミニウム		鉄線PEコーティング	鉄線PEコーティング
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	680×40×80 830×40×80	930×40×80 1130×40×80	250×425×555	220×300×240
外観				
価格	BB-LCV5(750)¥6,400 BB-LCV5(900)¥7,400	BB-LCV5(1000)¥8,400 BB-LCV5(1200)¥9,400	¥4,700	¥1,200

品名	シャワースクリーン	扉用バスケット	ティッシュボックスホルダー
品番	BB-PD2	BB-EX5	BB-GX2
主な材質	ポリプロピレン	鉄線PEコーティング	鉄パイプ製 (メッキ仕上げ)
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	460×50×300	200×100×300	200×80×145
外観	※2枚セット		※ミドルキャビネット用。 間口250mmサイズには取付け不可。 80 200 145
価格	¥5,800	¥1,500	¥5,000

品名	フォールディング チェア	スタイリッシュ チェア	ワゴン (脱衣カゴタイプ)
品番	BB-SD4	BB-HD6	BB-FCW60A
主な材質	スチール	スチール	粉体塗装 ポリエチレンコーティング
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	330×380×825	467×396×620	225×430×450
外観	445~680	430~542	
価格	¥16,000	¥42,000	BB-FCW60A ¥18,000

仕様

交換部品およびオプション品の購入方法

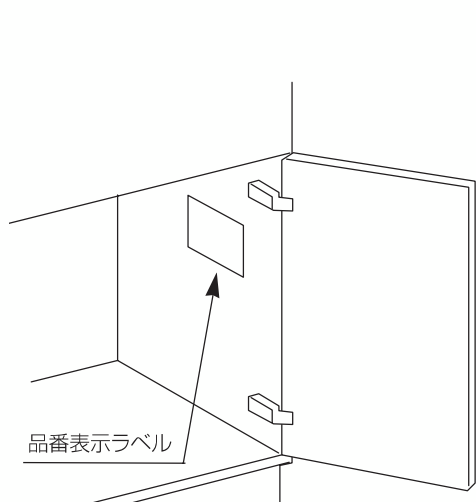
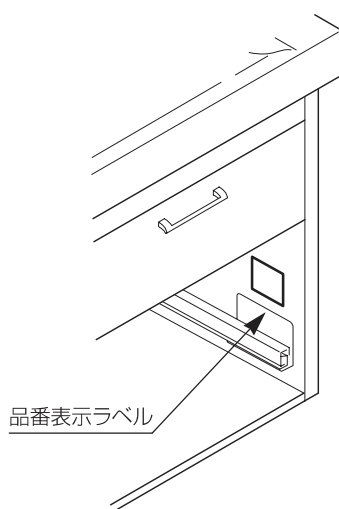
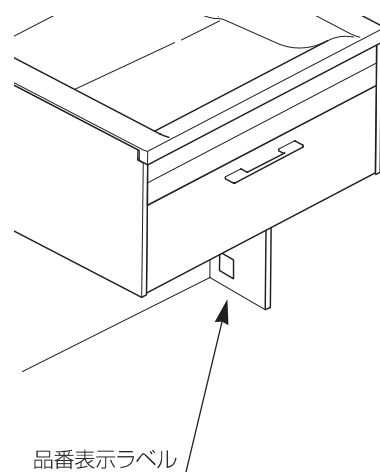
交換部品の名称と品番をご指定ください。
交換部品の名称、品番が不明の時は、当社お客様相談センターにおたずねください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の販売店でお求めください。	LIXILパーツショップ水まわり部品販売の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） **0120-126-015** 受付時間　9:00～17:00 （土、日、祝日、年末年始、夏期休暇を除く）

廃棄について

洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

本体に貼ってあるラベルを見る

洗面化粧台（扉･引出タイプ）	開き扉を開けたキャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
洗面化粧台（フルスライドタイプ）	右側の引出し（下段）を引き出し、キャビネット本体内部の右中央に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
洗面化粧台（カラクリスライドタイプ）	配管パネルを開けたキャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
洗面化粧台（ステップスライドタイプ）	右側の引出し（上段）を引出し、キャビネット本体内部･右中央に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
その他のキャビネット	キャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。

洗面化粧台
（扉･引出タイプ）

洗面化粧台
（フルスライドタイプ･ステップスライドタイプ）

洗面化粧台
（カラクリスライドタイプ）

例）洗面化粧台　品番表示ラベル

品番
GSH-755S/JD2H

製造番号（MB）
A0123-012345678

修理のご依頼は、
お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター
0120-179 4 -11
http:www.i-mate.co.jp
株式会社 ＬＩＸＩＬ

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番:洗面化粧台　ラルージュ		
保証期間 取付日より　2ヶ年		取付日 年　月　日
お客さま	おなまえ おところ おでんわ (　　)　ー	取扱店名 TEL (　　)　ー

無効

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2.無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4.保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
(2) 取付説明書などに基づかない取付けに起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7.修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏季、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
LIXIL 修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11　受付時間　9:00～20:00
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス	http://www.lixil.co.jp

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL 修理受付センターに修理をご依頼ください。

袋:PE

GMB-0377（14075）